WindowsXPを使用したパソコンでファイルを共有する

WindowsXPを使用したパソコンで、USBネットワークまたはRAS接続を使用してパソコン間でファイル共有を行うための設定方法を説明致します。

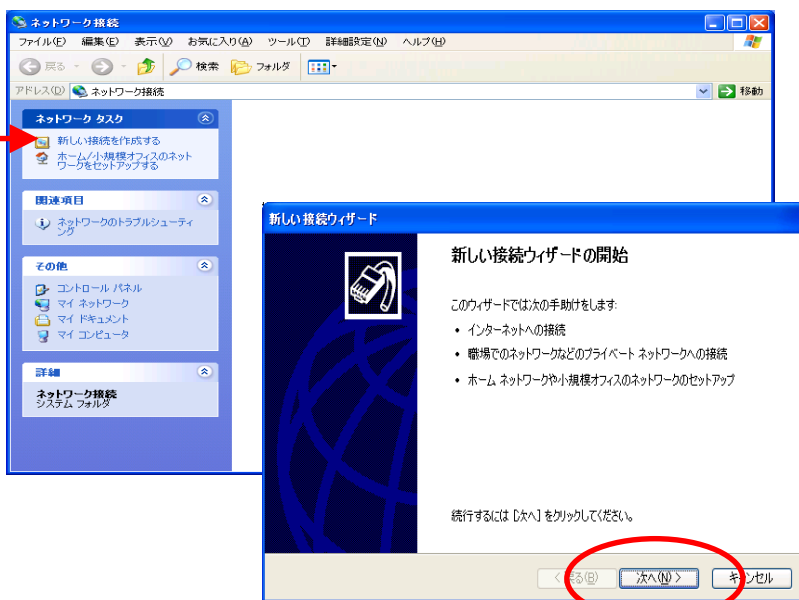
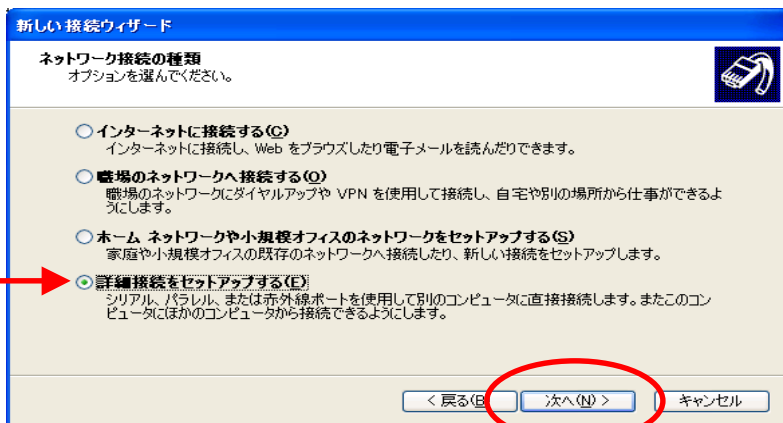
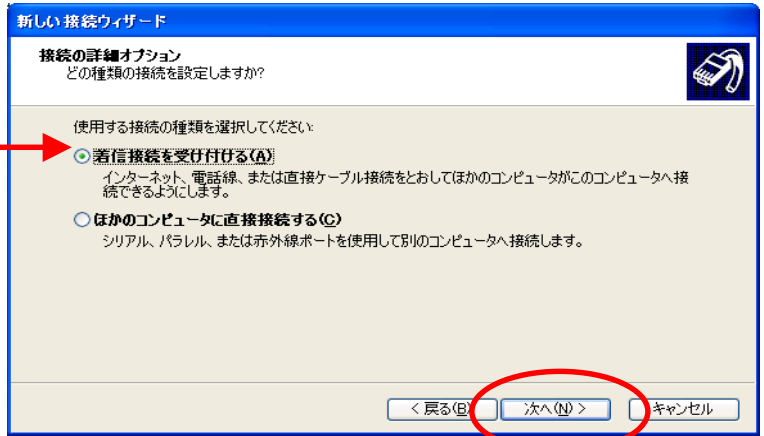
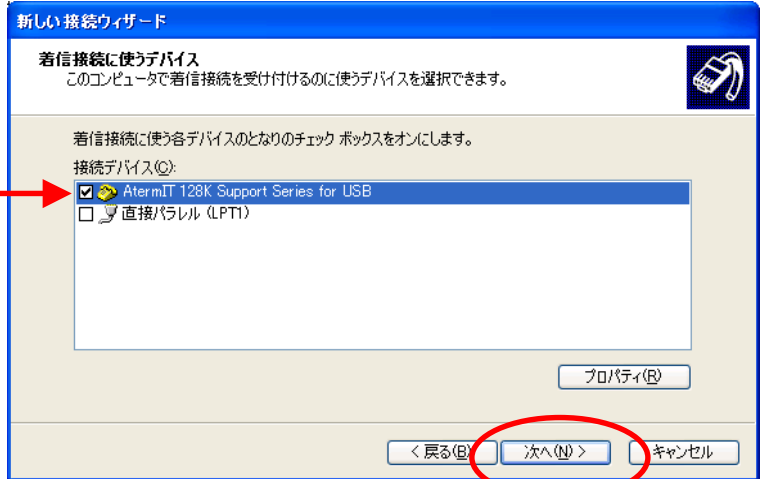
目次

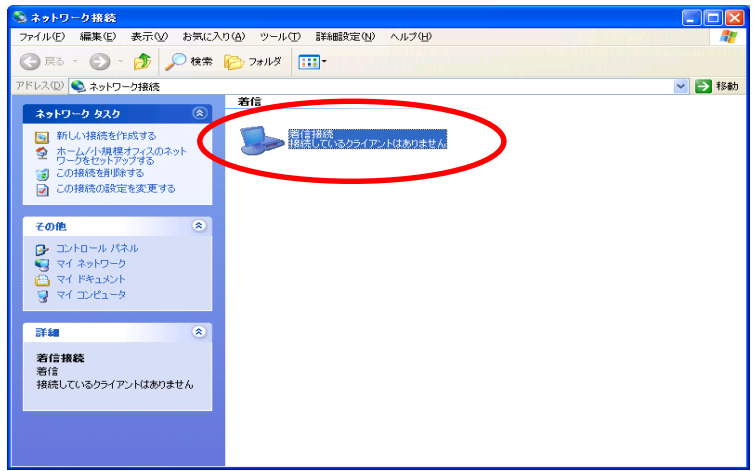
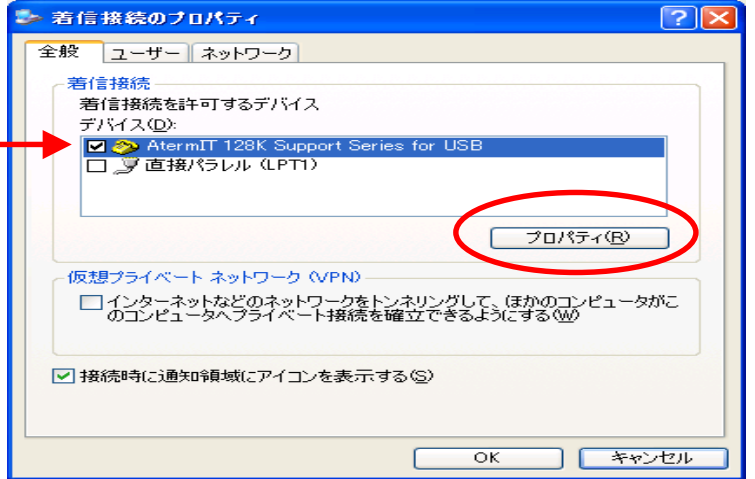
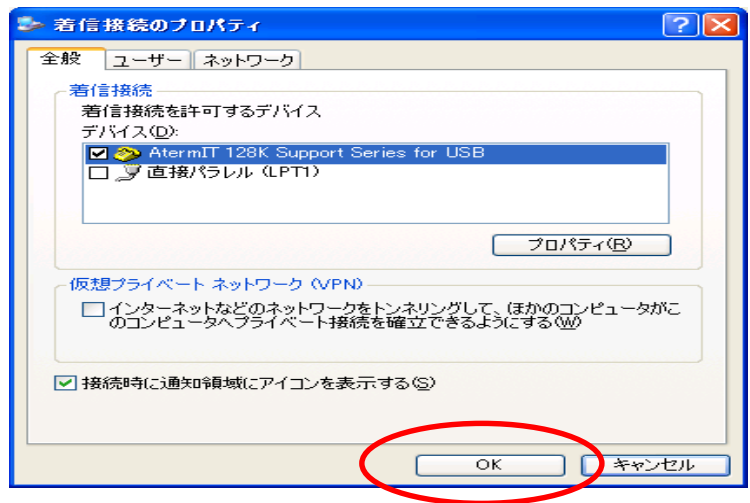
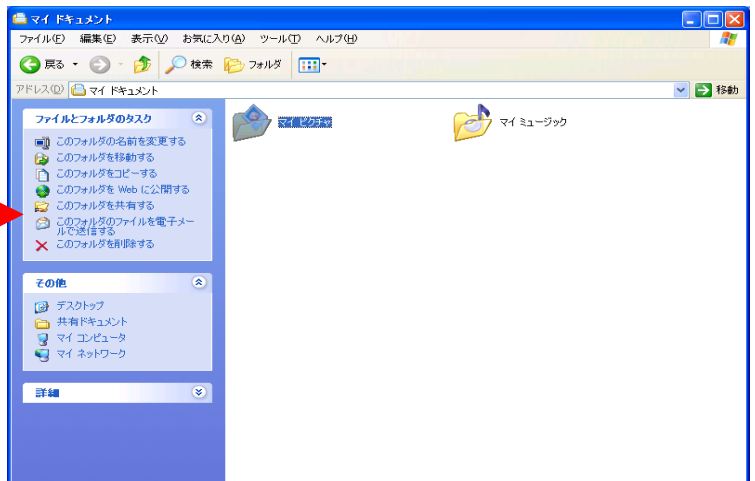
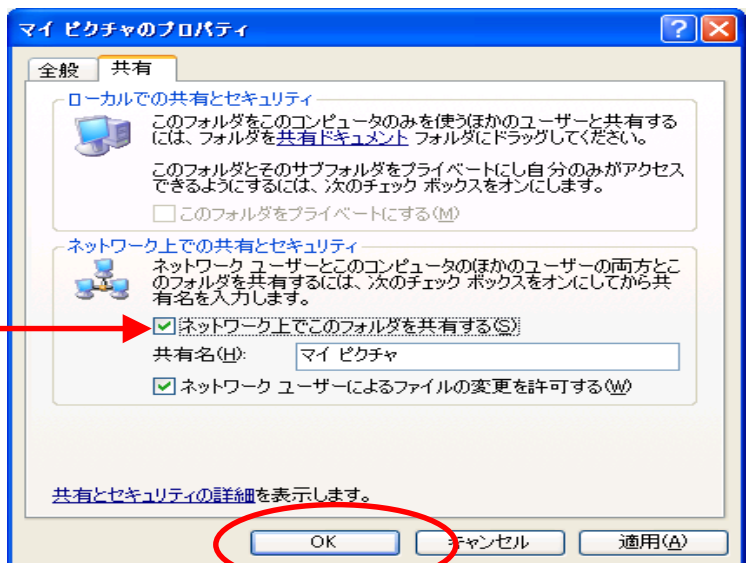
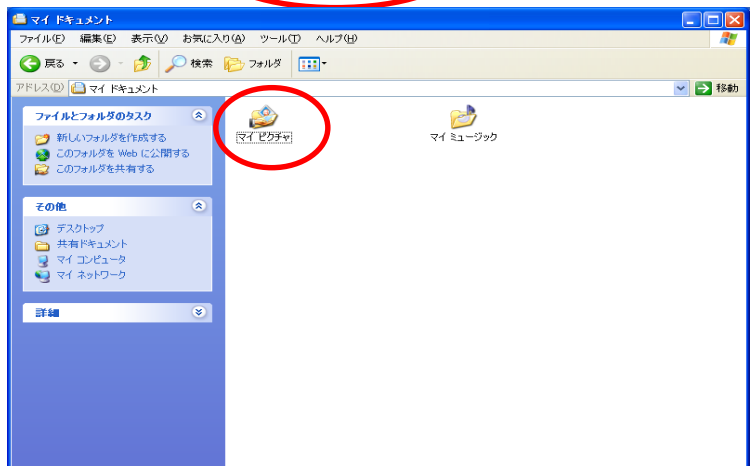
WindowsXPを使用したパソコンでファイルを共有する

WindowsXPを使用したパソコンで、USBネットワークまたはRAS接続を使用してパソコン間でファイル共有を行うための設定方法を説明致します。

1．WindowsXPのパソコンをサーバとして使用する場合の設定

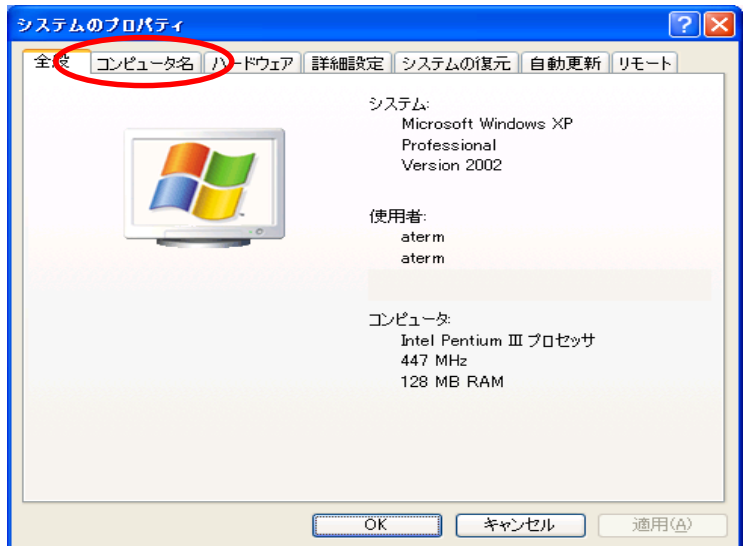
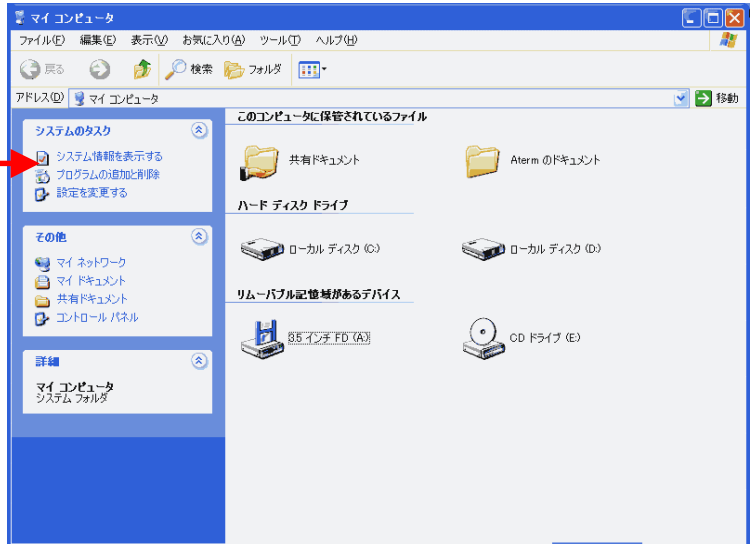
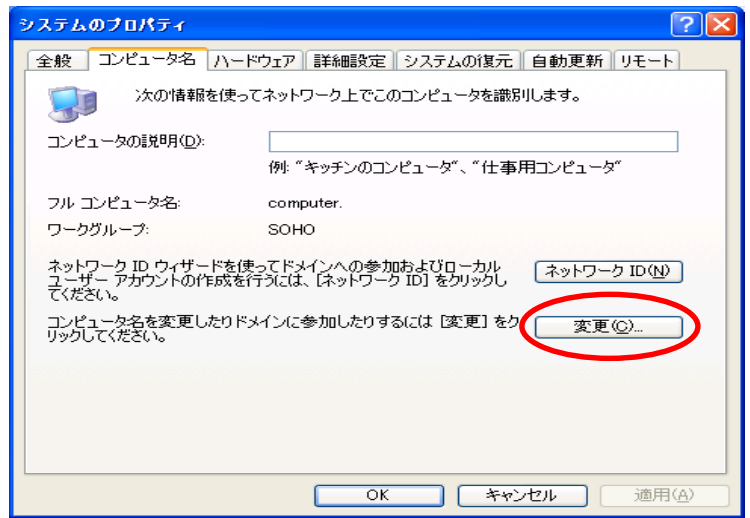
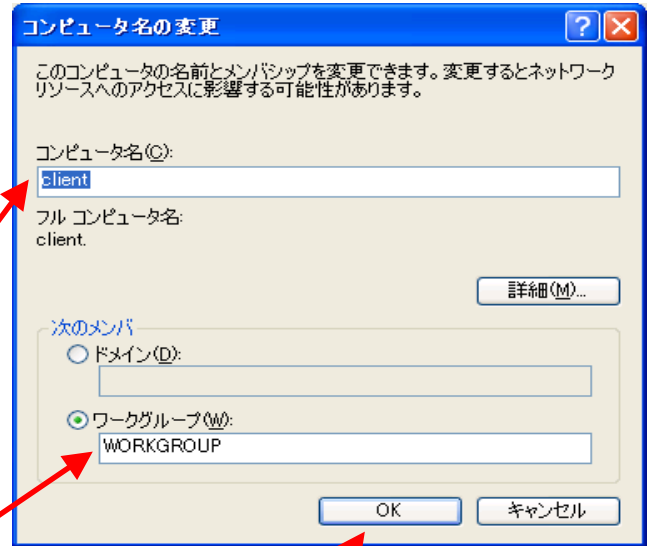
1．1　WindowsXPサーバの設定

1．1．1　着信接続アイコンの作成

[着信接続を受け付ける]を選択し[次へ]をクリックします。
着信用に使用する接続デバイスを選択し[次へ]をクリックします。
[着信プライベート接続を許可しない]を選択し[次へ]をクリックします。
[追加]をクリックします。
次項へ
新しい接続ウィザード
接続の詳細オプション
どの種類の接続を設定しますか?
使用する接続の種類を選択してください:
着信接続を受け付ける(A)
インターネット、電話線、または直接ケーブル接続をとおしてほかのコンピュータがこのコンピュータへ接続できるようにします。
ほかのコンピュータに直接接続する(C)
シリアル、パラレル、または赤外線ポートを使用して別のコンピュータへ接続します。
< 戻る(B)
次へ(N) >
キャンセル
着信接続に使うデバイス
このコンピュータで着信接続を受け付けるのに使うデバイスを選択できます。
着信接続に使う各デバイスのとなりのチェック ボックスをオンにします。
接続デバイス(C):
AtermIT 128K Support Series for USB
直接パラレル (LPT1)
プロパティ(R)
着信した仮想プライベート ネットワーク (VPN) 接続
VPN 接続を使うと、別のコンピュータがこのコンピュータへ接続できるようになります。
このコンピュータにインターネット上で認識される名前または IP アドレスがある場合のみ、インターネットをとおしてこのコンピュータへ仮想プライベート接続を行うことができます。
VPN 接続を許可すると、Windows はコンピュータがパケットを送信および受信できるように、インターネット接続ファイアウォールを変更します。
このコンピュータで仮想プライベート接続を許可するかどうかを選択してください:
仮想プライベート接続を許可する(A)
仮想プライベート接続を許可しない(D)
ユーザーの許可
このコンピュータへ接続できるユーザーを指定することができます。
このコンピュータへの接続を許可する各ユーザーの名前のとなりのチェック ボックスをオンにしてください。注意: ユーザー アカウントが無効になっているなどのほかの要因によって、ユーザーが接続できなくなることがあります。
接続を許可するユーザー(U):
Administrator
Guest
HelpAssistant (Remote Desktop Help Assistant Account)
SUPPORT_388945a0 (CN=Microsoft Corporation,L=Redmond,S=Washington,C=US)
追加(A)...
削除(R)
プロパティ(P)

着信接続を許可する[ユーザー名]とその[パスワード]を入力し[OK]をクリックします。
新しいユーザー
ユーザー名(U):
aterm
フル ネーム(F):
aterm
パスワード(P):
*****
パスワードの確認入力(C):
*****
OK
キャンセル
追加した[接続を許可するユーザー]を選択し[次へ]をクリックします。
新しい接続ウィザード
ユーザーの許可
このコンピュータへ接続できるユーザーを指定することができます。
このコンピュータへの接続を許可する各ユーザーの名前のとなりのチェック ボックスをオンにしてください。注意: ユーザー アカウントが無効になっているなどのほかの要因によって、ユーザーが接続できなくなることがあります。
接続を許可するユーザー(U):
Administrator
aterm (aterm)
Guest
HelpAssistant (Remote Desktop Help Assistant Account)
SUPPORT_388945a0 (CN=Microsoft Corporation,L=Redmond,S=Washington,C=US)
追加(A)...
削除(R)
プロパティ(P)
< 戻る(B)
次へ(N) >
キャンセル
[インターネットプロトコル(TCP/IP)][Microsoftネットワーク用ファイルとプリンタ共有][Microsoftネットワーク用クライアント]の3つにチェックしてあることを確認し(チェックがなければチェックしてください)[次へ]をクリック
新しい接続ウィザード
ネットワーク ソフトウェア
ネットワーク ソフトウェアを使うと、ほかの種類のコンピュータがこのコンピュータに接続できるようになります。
着信接続に対して有効にする各ネットワーク ソフトウェアのとなりのチェック ボックスをオンにします。
ネットワーク ソフトウェア(S):
インターネット プロトコル (TCP/IP)
Microsoft ネットワーク用ファイルとプリンタ共有
Microsoft ネットワーク用クライアント
インストール(I)...
アンインストール(U)
プロパティ(P)
説明:
伝送制御プロトコル/インターネット プロトコル。相互接続されたさまざまなネットワーク間の通信を提供する、既定のワイド エリア ネットワーク プロトコルです。
< 戻る(B)
次へ(N) >
キャンセル
[完了]をクリックしてください。
新しい接続ウィザード
新しい接続ウィザードの完了
次の接続の作成に必要な手順は正常に完了しました。
着信接続
この接続は、[ネットワーク接続] フォルダに保存されます。
接続を作成してウィザードを閉じるには、[完了] をクリックしてください。
< 戻る(B)
完了
キャンセル
次項へ

[着信接続]を右クリックしプロパティをクリックしてください。
着信接続を許可するデバイスを選択し[プロパティ]をクリックしてください。
[AUTO(1 Ch)]となっていることを確認し[OK]をクリックしてください。
128Kで着信させたい場合は[PPP(128K)]を選択してください。
次項へ
ネットワーク接続
ネットワーク タスク
新しい接続を作成する
ホーム/小規模オフィスのネットワークをセットアップする
この接続を削除する
この接続の設定を変更する
その他
コントロール パネル
マイ ネットワーク
マイ ドキュメント
マイ コンピュータ
詳細
着信接続
着信
接続しているクライアントはありません
着信接続のプロパティ
全般
ユーザー
ネットワーク
着信接続を許可するデバイス
デバイス(D):
AtermIT 128K Support Series for USB
直接パラレル (LPT1)
プロパティ(R)
仮想プライベート ネットワーク (VPN)
インターネットなどのネットワークをトンネリングして、ほかのコンピュータがこのコンピュータへプライベート接続を確立できるようにする(W)
接続時に通知領域にアイコンを表示する(S)
OK
キャンセル
AtermIT 128K Support Series for USB 接続の設定
全般
詳細設定
呼び出しオプション
オペレータ経由 (手動) の呼び出し(O)
切断までの待ち時間(D)
分
ダイヤル時の接続タイムアウト(C)
50
秒
データ接続オプション
ポート速度(P):
115200
データ プロトコル(A):
AUTO (1 Ch.)
圧縮(R):
フロー制御(F):
ハードウェア
OK
キャンセル

[OK]をクリックしてください。
これで着信アイコンの作成は完了です。

着信接続のプロパティ
全般
ユーザー
ネットワーク
着信接続
着信接続を許可するデバイス
デバイス(D):
AtermIT 128K Support Series for USB
直接パラレル (LPT1)
プロパティ(R)
仮想プライベート ネットワーク (VPN)
インターネットなどのネットワークをトンネリングして、ほかのコンピュータがこのコンピュータへプライベート接続を確立できるようにする(W)
接続時に通知領域にアイコンを表示する(S)
OK
キャンセル

１．１．２ ファイル共有の設定

これでWindowsXPサーバの設定を終了します。

1．2　クライアントの設定(WindowsXP)

1．2．1　ワークグループ名の設定

［変更］をクリックしてください。
［コンピュータ名］はサーバと違う名前を入力してください。
［ワークグループ］名はサーバと同じ名前にしてください。
サーバの画面
違う名前
同じ名前
［OK］をクリックしてください。
次項へ
システムのプロパティ
全般
コンピュータ名
ハードウェア
詳細設定
システムの復元
自動更新
リモート
次の情報を使ってネットワーク上でこのコンピュータを識別します。
コンピュータの説明(D):
例: "キッチンのコンピュータ"、"仕事用コンピュータ"
フル コンピュータ名:
computer.
ワークグループ:
SOHO
ネットワーク ID ウィザードを使ってドメインへの参加およびローカル ユーザー アカウントの作成を行うには、[ネットワーク ID] をクリックしてください。
ネットワーク ID(N)
コンピュータ名を変更したりドメインに参加したりするには [変更] をクリックしてください。
変更(C)...
OK
キャンセル
適用(A)
コンピュータ名の変更
このコンピュータの名前とメンバシップを変更できます。変更するとネットワーク リソースへのアクセスに影響する可能性があります。
コンピュータ名(C):
client
フル コンピュータ名:
client.
詳細(M)...
次のメンバ
ドメイン(D):
ワークグループ(W):
WORKGROUP
OK
キャンセル
nec-27ia5h5rfal.
WORKGROUP
変更はコンピュータの再起動後に有効になります。

[OK]をクリックしてください。

コンピュータ名の変更

WORKGROUP ワークグループへようこそ。

OK

[OK]をクリックしてください。

コンピュータ名の変更

変更を有効にするには、コンピュータを再起動してください。

OK

[OK]をクリックしてください。

システムのプロパティ

全般 | コンピュータ名 | ハードウェア | 詳細設定 | システムの復元 | 自動更新 | リモート

次の情報を使ってネットワーク上でこのコンピュータを識別します。

コンピュータの説明(D):

例: "キッチンのコンピュータ"、"仕事用コンピュータ"

フル コンピュータ名: client.

ワークグループ: WORKGROUP

ネットワーク ID ウィザードを使ってドメインへの参加およびローカル ユーザー アカウントの作成を行うには、[ネットワーク ID] をクリックしてください。 ネットワーク ID(N)

コンピュータ名を変更したりドメインに参加したりするには [変更] をクリックしてください。 変更(C)...

変更はコンピュータの再起動後に有効になります。

OK キャンセル 適用(A)

[はい]をクリックして再起動してください。

システム設定の変更

新しい設定を有効にするには、コンピュータを再起動する必要があります。

今すぐ再起動しますか?

はい(Y) いいえ(N)

これでワークグループ名の設定は終了です。

1．2．2 ダイヤルアップの接続先を作成する

[ダイヤルアップ接続]を選択し
[次へ]をクリックしてください。
接続に使用するデバイスを選択し
[次へ]をクリックしてください。
接続の名前の入力し
[次へ]をクリックしてください。
次項へ
新しい接続ウィザード
ネットワーク接続
職場でネットワークにどう接続しますか?
次の接続を作成します:
ダイヤルアップ接続(D)
モデムや通常の電話線、または統合デジタル サービス通信網 (ISDN) 電話線を使用して接続します。
仮想プライベート ネットワーク接続(V)
インターネットをとおして仮想プライベート ネットワーク (VPN) 接続を使用してネットワークに接続します。
< 戻る(B)
次へ(N) >
キャンセル
新しい接続ウィザード
デバイスの選択
接続に使うデバイスを選択します。
コンピュータ上に複数のダイヤルアップ デバイスがあります。
この接続に使用するデバイスの選択(S):
モデム - AtermIT 128K Support Series for USB (COM5)
モデム - NEC Fax Modem 56K Data+Fax(BUQD) (COM3)
< 戻る(B)
次へ(N) >
キャンセル
新しい接続ウィザード
接続名
職場への接続の名前を指定します。
次のボックスにこの接続の名前を入力してください。
会社名(A)
USBネットワーク
たとえば、職場の名前や接続するサーバーの名前を入力できます。
< 戻る(B)
次へ(N) >
キャンセル

接続先の電話番号を入力し
[次へ]をクリックしてください。

USBネットワークでご利用の場合、

サーバパソコンの電話番号は、

背面のUSBポート:00

前面のUSBポート:01

RS-232Cポート:02

Bluetoothポート:03

と入力してください。

[完了]をクリックしてください。

USBネットワーク へ接続

ユーザー名(U):

パスワード(P):

次のユーザーが接続するとき使用するために、このユーザー名とパスワードを保存する(S):

このユーザーのみ(N)

このコンピュータを使うすべてのユーザー(A)

ダイヤル(I): 00

ダイヤル(D) キャンセル プロパティ(O) ヘルプ(H)

[プロパティ]をクリックしてください。

次項へ

[ネットワーク]をクリックしてください。
[インターネットプロトコル(TCP/IP)]
[Microsoftネットワーク用クライアント]を
チェックして、[設定]クリックしてください。
全てのチェックをはずして
[OK]をクリックしてください。
次項へ
USBネットワーク プロパティ
全般
オプション
セキュリティ
ネットワーク
詳細設定
接続方法(T):
モデム - AtermIT 128K Support Series for USB (COM5)
モデム - NEC Fax Modem 56K Data+Fax(BUQD) (COM3)
すべてのデバイスで同じ番号を呼び出す(L)
構成(O)...
電話番号
市外局番(E):
電話番号(P):
00
その他(N)
国番号/地域番号(G):
ダイヤル情報を使う(S)
ダイヤル情報(R)
接続時に通知領域にアイコンを表示する(W)
OK
キャンセル
USBネットワーク プロパティ
呼び出すダイヤルアップ サーバーの種類(E):
PPP: Windows 95/98/NT4/2000, Internet
設定(S)
この接続は次の項目を使用します(O):
インターネット プロトコル (TCP/IP)
Microsoft ネットワーク用ファイルとプリンタ共有
Microsoft ネットワーク用クライアント
インストール(N)...
アンインストール(U)
プロパティ(R)
説明
伝送制御プロトコル/インターネット プロトコル。相互接続されたさまざまなネットワーク間の通信を提供する、既定のワイド エリア ネットワーク プロトコルです。
OK
キャンセル
PPP 設定
LCP 拡張を使う(E)
ソフトウェアによる圧縮を行う(N)
単一リンク接続に対してマルチリンクをネゴシエートする(M)
OK
キャンセル

[インターネットプロトコル(TCP/IP)]を選択し
[プロパティ]をクリックしてください。
[詳細設定]をクリックしてください。
[IPヘッダー圧縮を使う]のチェックをはずし
[OK]をクリックしてください。
次項へ
USBネットワーク プロパティ
全般
オプション
セキュリティ
ネットワーク
詳細設定
呼び出すダイヤルアップ サーバーの種類(E):
PPP: Windows 95/98/NT4/2000, Internet
設定(S)
この接続は次の項目を使用します(O):
インターネット プロトコル (TCP/IP)
Microsoft ネットワーク用ファイルとプリンタ共有
Microsoft ネットワーク用クライアント
インストール(N)...
アンインストール(U)
プロパティ(R)
説明
伝送制御プロトコル/インターネット プロトコル。相互接続されたさまざまなネットワーク間の通信を提供する、既定のワイド エリア ネットワーク プロトコルです。
OK
キャンセル
インターネット プロトコル (TCP/IP)のプロパティ
全般
ネットワークでこの機能がサポートされている場合は、IP 設定を自動的に取得することができます。サポートされていない場合は、ネットワーク管理者に適切な IP 設定を問い合わせてください。
IP アドレスを自動的に取得する(O)
次の IP アドレスを使う(S):
IP アドレス(I):
DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する(B)
次の DNS サーバーのアドレスを使う(E):
優先 DNS サーバー(P):
代替 DNS サーバー(A):
詳細設定(V)...
OK
キャンセル
TCP/IP 詳細設定
全般
DNS
WINS
このチェック ボックスは、ローカル ネットワークとダイヤルアップ ネットワークに同時に接続しているときにのみ適用されます。オンになっている場合、ローカル ネットワークで送信できないデータはダイヤルアップ ネットワークに転送されます。
リモート ネットワークでデフォルト ゲートウェイを使う(U)
PPP リンク
IP ヘッダーの圧縮を使う(S)
OK
キャンセル

これでWindowsXPサーバの場合のWindowsXPクライアントの設定を終了します。

1．3　クライアントの設定(Windows2000)

1．3．1　ワークグループ名の設定

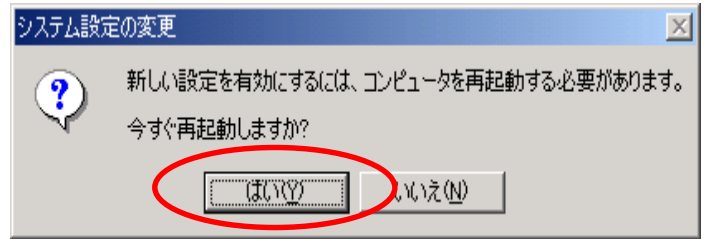
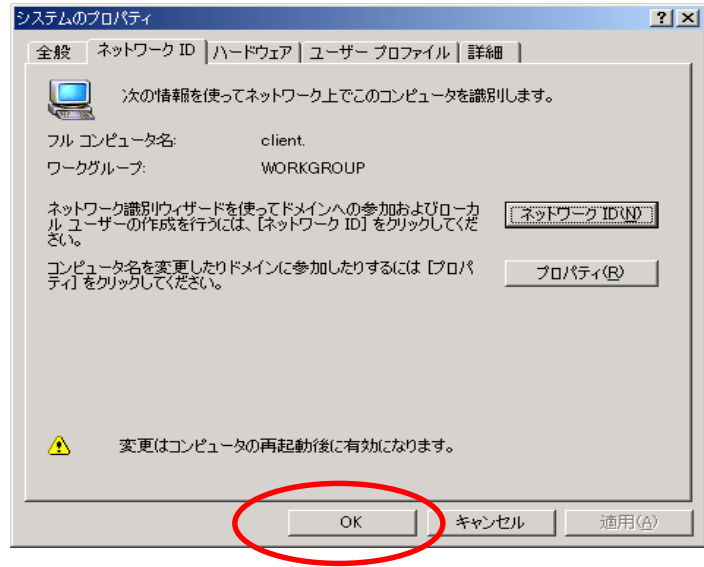
［スタート］－［設定］－［コントロールパネル］をクリックし［システム］をダブルクリックしてください。

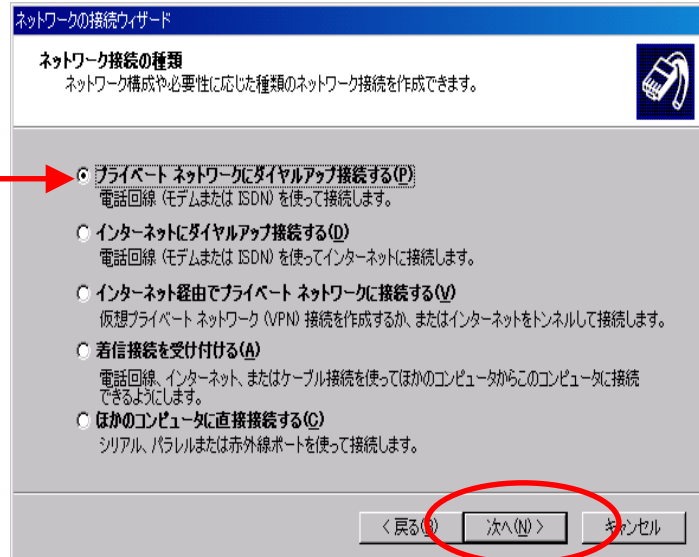
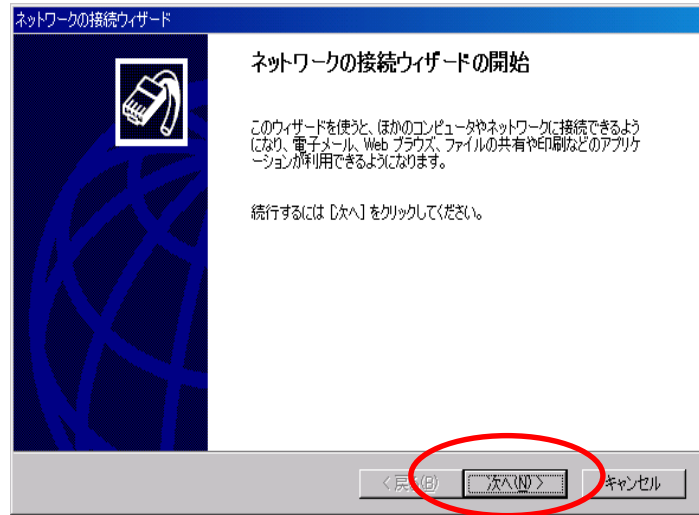
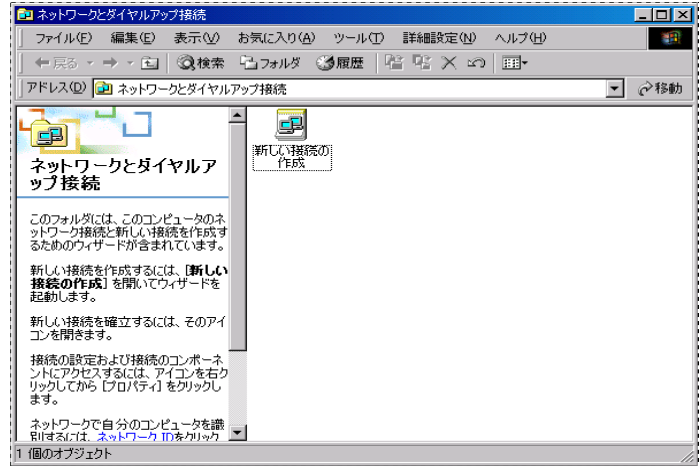
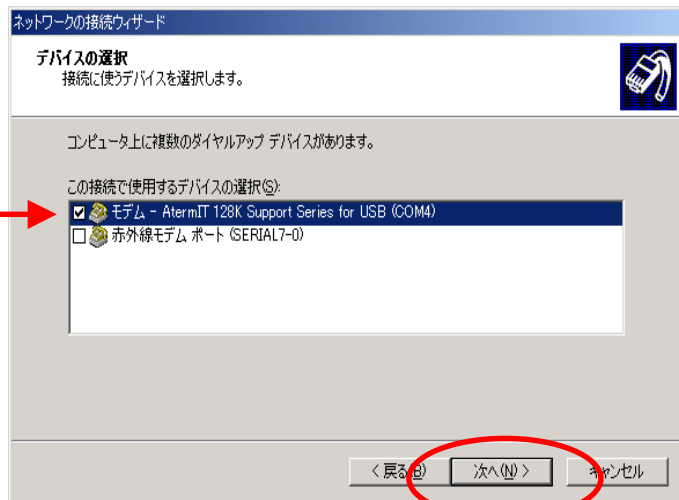
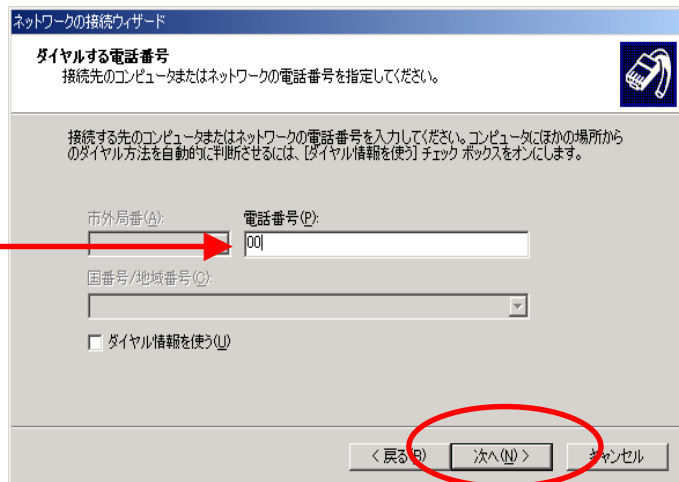
［ネットワークID］をクリックしてください。

［プロパティ］をクリックしてください。

次項へ

[コンピュータ名]はサーバと違う名前を入力してください。
[ワークグループ]名はサーバと同じ名前にしてください。
サーバの画面
システムのプロパティ
全般
コンピュータ名
ハードウェア
詳細設定
システムの復元
自動更新
リモート
次の情報を使ってネットワーク上でこのコンピュータを識別します。
コンピュータの説明(D):
例: "キッチンのコンピュータ"、"仕事用コンピュータ"
フル コンピュータ名:
nec-27ia5h5rfal.
ワークグループ:
WORKGROUP
ネットワーク ID ウィザードを使ってドメインへの参加およびローカル ユーザー アカウントの作成を行うには、[ネットワーク ID] をクリックしてください。
ネットワーク ID(N)
コンピュータ名を変更したりドメインに参加したりするには [変更] をクリックしてください。
変更(C)...
変更はコンピュータの再起動後に有効になります。
OK
キャンセル
適用(A)
違う名前
同じ名前
識別の変更
このコンピュータの名前とメンバシップを変更できます。変更するとネットワーク リソースへのアクセスに影響する可能性があります。
コンピュータ名(C):
client
フル コンピュータ名:
client.
詳細(M)...
次のメンバ
ドメイン(D):
ワークグループ(W):
WORKGROUP
OK
キャンセル
[OK]をクリックしてください。
[OK]をクリックしてください。
ネットワーク ID
WORKGROUP ワークグループへようこそ。
OK
[OK]をクリックしてください。
ネットワーク ID
変更を有効にするには、コンピュータを再起動してください。
OK
次項へ

[OK]をクリックしてください。
[はい]をクリックし再起動してください。
これでワークグループ名の設定は終了です。

システムのプロパティ
全般
ネットワーク ID
ハードウェア
ユーザー プロファイル
詳細
次の情報を使ってネットワーク上でこのコンピュータを識別します。
フル コンピュータ名:
client.
ワークグループ:
WORKGROUP
ネットワーク識別ウィザードを使ってドメインへの参加およびローカル ユーザーの作成を行うには、[ネットワーク ID] をクリックしてください。
ネットワーク ID(N)
コンピュータ名を変更したりドメインに参加したりするには [プロパティ] をクリックしてください。
プロパティ(R)
変更はコンピュータの再起動後に有効になります。
OK
キャンセル
適用(A)
システム設定の変更
新しい設定を有効にするには、コンピュータを再起動する必要があります。
今すぐ再起動しますか?
はい(Y)
いいえ(N)

１．３．２ ダイヤルアップの接続先を作成する

接続に使用するデバイスを選択し
[次へ]をクリックしてください。
ネットワークの接続ウィザード
デバイスの選択
接続に使うデバイスを選択します。
コンピュータ上に複数のダイヤルアップ デバイスがあります。
この接続で使用するデバイスの選択(S):
モデム - AtermIT 128K Support Series for USB (COM4)
赤外線モデム ポート (SERIAL7-0)
< 戻る(B)
次へ(N) >
キャンセル
接続先の電話番号を入力し
[次へ]をクリックしてください。
USBネットワークでご利用の場合、
サーバパソコンの電話番号は、
背面のUSBポート:00
前面のUSBポート:01
RS-232Cポート:02
Bluetoothポート:03
と入力してください。
ネットワークの接続ウィザード
ダイヤルする電話番号
接続先のコンピュータまたはネットワークの電話番号を指定してください。
接続する先のコンピュータまたはネットワークの電話番号を入力してください。コンピュータにほかの場所から
のダイヤル方法を自動的に判断させるには、[ダイヤル情報を使う] チェック ボックスをオンにします。
市外局番(A):
電話番号(P):
00
国番号/地域番号(C):
ダイヤル情報を使う(U)
< 戻る(B)
次へ(N) >
キャンセル
[すべてのユーザ]を選択し
[次へ]をクリックしてください。
ネットワークの接続ウィザード
接続の利用範囲
新しい接続をすべてのユーザー用、または自分専用に指定できます。
この接続をすべてのユーザー用または自分専用に指定できます。自分専用のプロファイルに格納した接続
は、あなたがログオンしたときだけ利用できます。
この接続を利用できるユーザーを指定してください:
すべてのユーザー(F)
自分のみ(O)
< 戻る(B)
次へ(N) >
キャンセル
次項へ

接続アイコン名を入力し
［完了］をクリックしてください。
［プロパティ］をクリックしてください。
接続に使用するモデムを選択し
［構成］をクリックしてください。
次項へ
ネットワークの接続ウィザード
ネットワークの接続ウィザードの完了
この接続に付ける名前を入力してください(T):
USBネットワーク
この接続を作成してネットワークとダイヤルアップ接続フォルダに保存するには、[完了] をクリックしてください。
この接続をネットワークとダイヤルアップ接続フォルダで編集するには、接続を選択し、[ファイル] メニューの [プロパティ] をクリックしてください。
ショートカットをデスクトップに追加する(S)
< 戻る(B)
完了
キャンセル
USBネットワーク へ接続
ユーザー名(U):
パスワード(P):
パスワードを保存する(S)
ダイヤル(I):
00
ダイヤル(D)
キャンセル
プロパティ(O)
ヘルプ(H)
USBネットワーク
全般
オプション
セキュリティ
ネットワーク
接続の方法(T):
モデム - AtermIT 128K Support Series for USB (COM4)
赤外線モデム ポート (SERIAL7-0)
すべてのデバイスで同じ番号を呼び出す(D)
構成(O)...
電話番号
市外局番(E):
電話番号(P):
00
その他(N)
国番号/地域番号(U):
ダイヤル情報を使う(S)
ダイヤル情報(R)
接続時にタスク バーにアイコンを表示する(W)
OK
キャンセル

[モデムのプロトコル]を[AUTO(1Ch)]に設定し[OK]をクリックしてください。
128Kで接続したい場合は[PPP(128K)]を設定してください。
[ネットワーク]をクリックし[設定]をクリックしてください。
全てのチェックをはずし[OK]をクリックしてください。
[インターネットプロトコル(TCP/IP)]と[Microsoftネットワーク用クライアント]にチェックし[インターネットプロトコル(TCP/IP)]を選択し[プロパティ]をクリックしてください。
次項へ
モデムの構成
AtermIT 128K Support Series for USB (COM4)
最高速度 (bps)(M):
115200
モデム プロトコル(P)
AUTO (1 Ch.)
ハードウェアの機能
ハードウェア フロー制御を行う(N)
モデムによるエラー制御を行う(A)
モデムによるデータ圧縮を行う(O)
初期化
ターミナル ウィンドウを表示する(S)
スクリプトを実行する(R):
編集(E)...
参照(B)...
モデム スピーカーを使う(D)
OK
キャンセル
USBネットワーク
全般
オプション
セキュリティ
ネットワーク
呼び出すダイヤルアップ サーバーの種類(E):
PPP: Windows 95/98/NT4/2000, Internet
設定(S)
チェック ボックスがオンになっているコンポーネントはこの接続で使われます(C):
インターネット プロトコル (TCP/IP)
Microsoft ネットワーク用ファイルとプリンタ共有
Microsoft ネットワーク用クライアント
インストール(I)...
削除(U)
プロパティ(R)
説明
伝送制御プロトコル/インターネット プロトコル。相互接続されたさまざまなネットワーク間の通信を提供する、既定のワイド エリア ネットワーク プロトコルです。
OK
キャンセル
PPP の設定
LCP 拡張を使う(E)
ソフトウェアによる圧縮を行う(N)
単一リンク接続に対してマルチリンクをネゴシエートする(M)
OK
キャンセル
USBネットワーク
全般
オプション
セキュリティ
ネットワーク
呼び出すダイヤルアップ サーバーの種類(E):
PPP: Windows 95/98/NT4/2000, Internet
設定(S)
チェック ボックスがオンになっているコンポーネントはこの接続で使われます(C):
インターネット プロトコル (TCP/IP)
Microsoft ネットワーク用ファイルとプリンタ共有
Microsoft ネットワーク用クライアント
インストール(I)...
削除(U)
プロパティ(R)
説明
伝送制御プロトコル/インターネット プロトコル。相互接続されたさまざまなネットワーク間の通信を提供する、既定のワイド エリア ネットワーク プロトコルです。
OK
キャンセル

[詳細設定]をクリックしてください。
[IPヘッダ圧縮を使う]のチェックをはずし
[OK]をクリックしてください。
インターネット プロトコル (TCP/IP)のプロパティ
全般
ネットワークでこの機能がサポートされている場合は、IP 設定を自動的に取得することができます。サポートされていない場合は、ネットワーク管理者に適切な IP 設定を問い合わせてください。
IP アドレスを自動的に取得する(O)
次の IP アドレスを使う(S):
IP アドレス(I):
DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する(B)
次の DNS サーバーのアドレスを使う(E):
優先 DNS サーバー(P):
代替 DNS サーバー(A):
詳細設定(V)...
OK
キャンセル
TCP/IP 詳細設定
全般
DNS
WINS
オプション
このチェック ボックスは、ローカル ネットワークとダイヤルアップ ネットワークに同時に接続しているときにのみ適用されます。オンになっている場合、ローカル ネットワークで送信できないデータはダイヤルアップ ネットワークに転送されます。
リモート ネットワークでデフォルト ゲートウェイを使う(U)
PPP リンク
IP ヘッダーの圧縮を使う(S)
OK
キャンセル

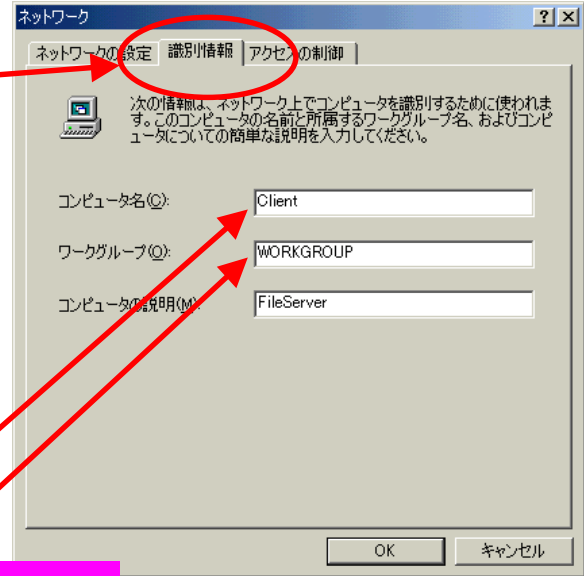
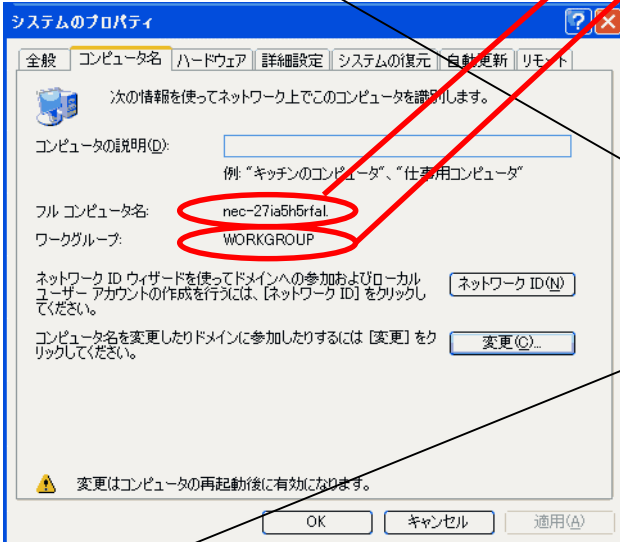
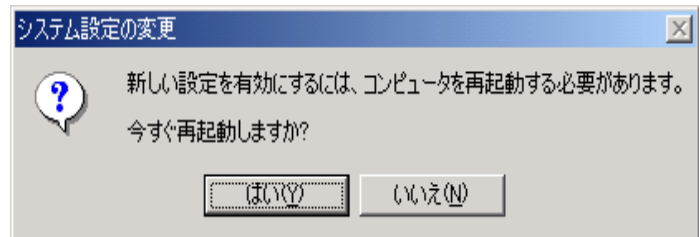
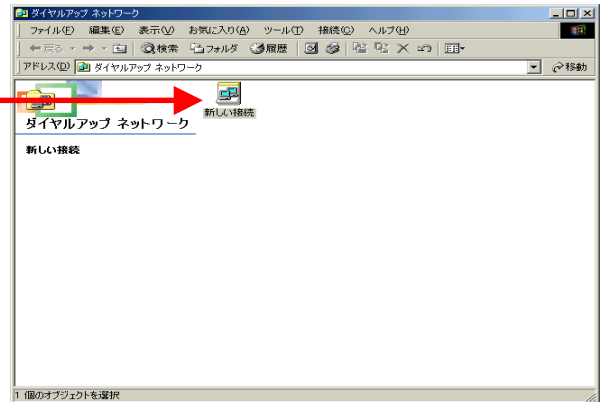
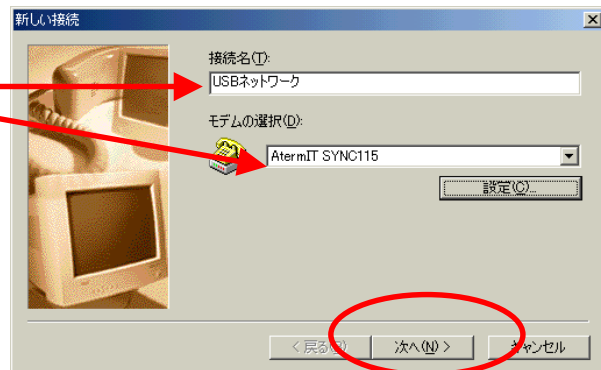
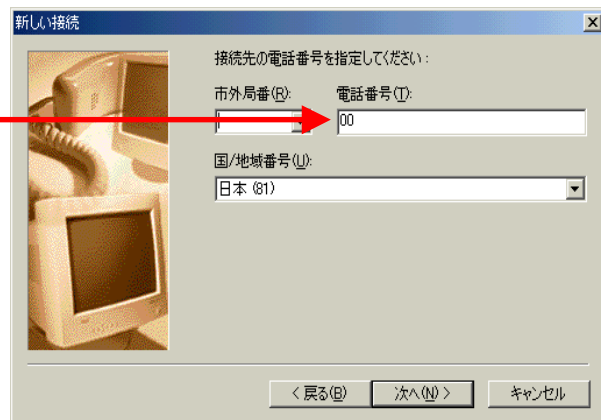
［OK］をクリックしてください。

［OK］をクリックしてください。

これでダイヤルアップの接続先の作成は終了です。

これでWindowsXPサーバの場合のWindows2000クライアントの設定を終了します。

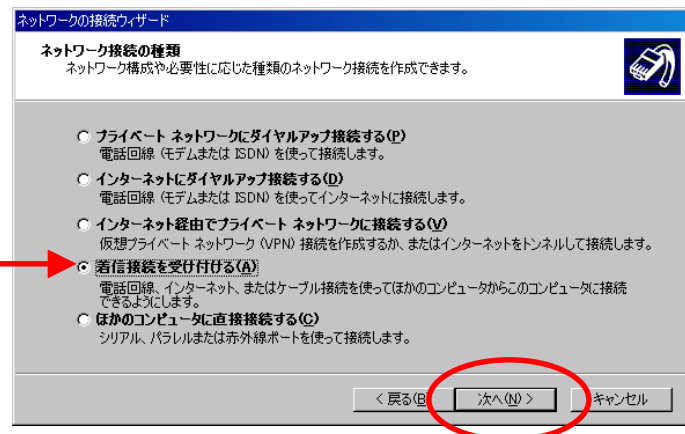
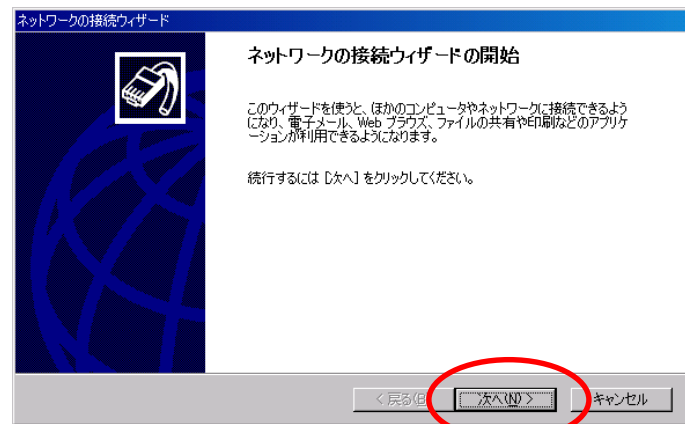
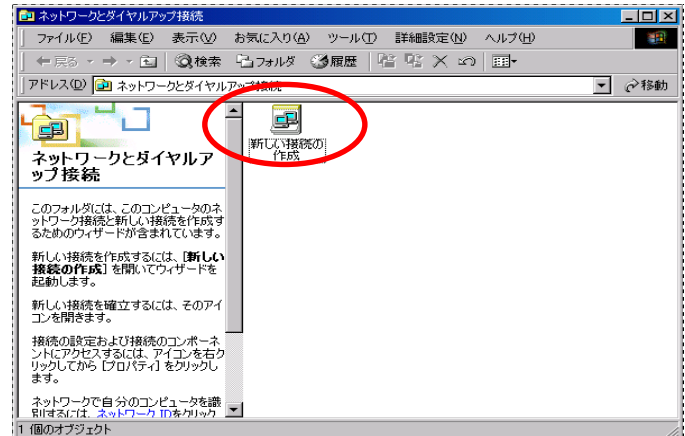
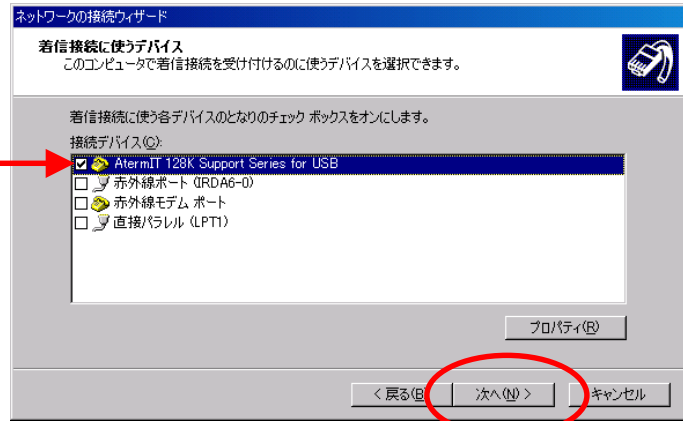
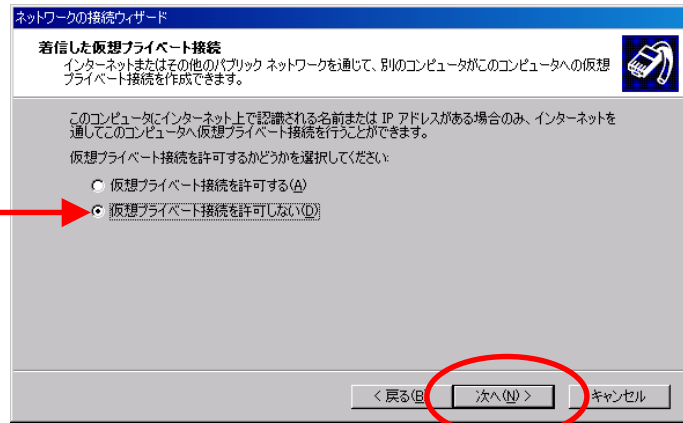
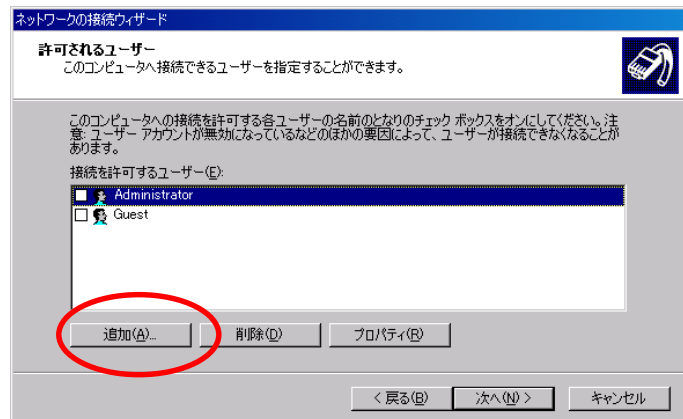
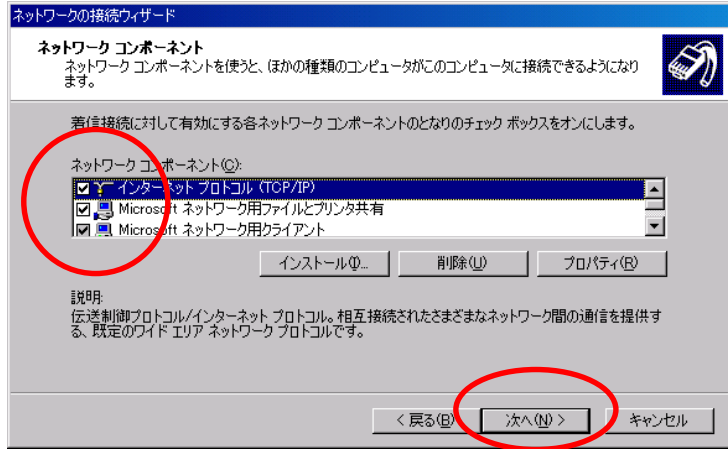
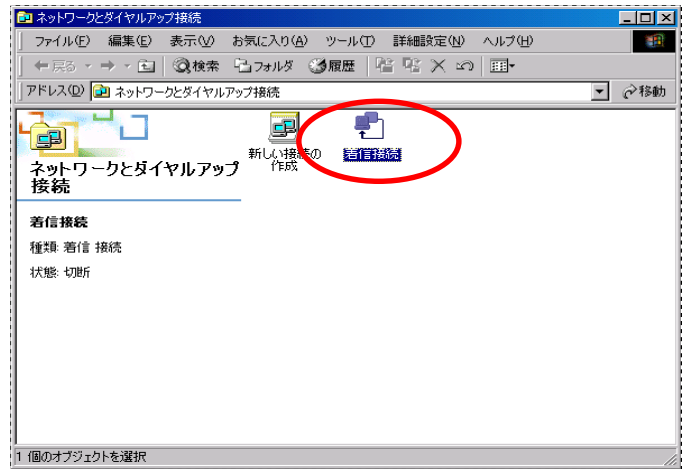
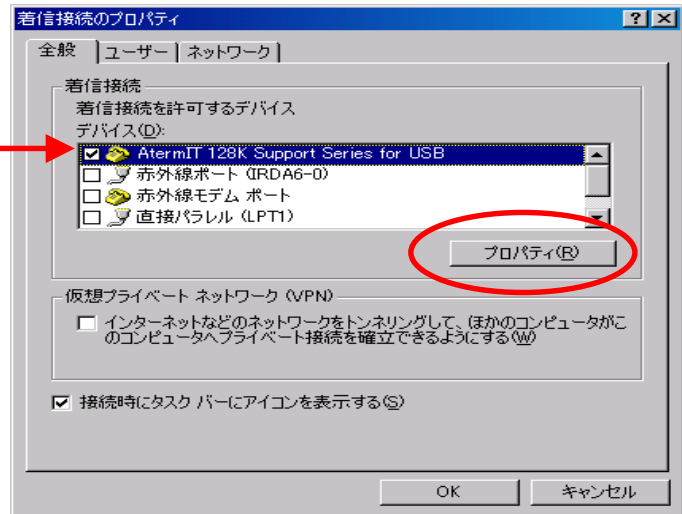
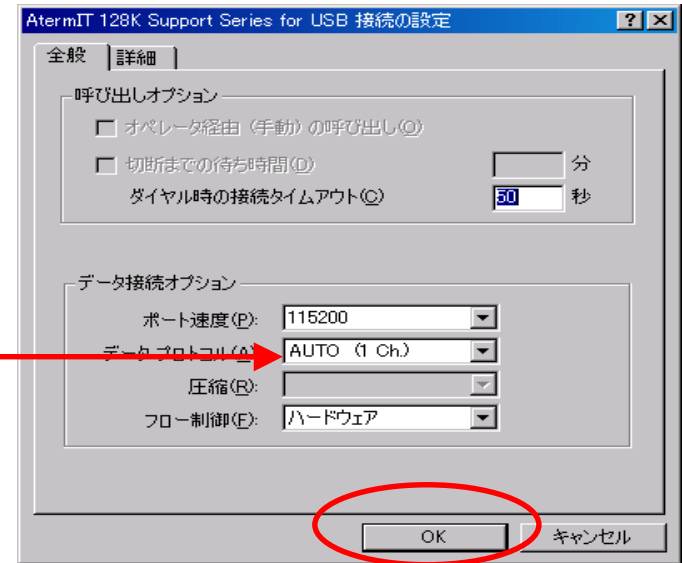
1．4　クライアントの設定(WindowsMe、Windows98、Windows98SE)

1．4．1　ワークグループ名の設定

1．4．2 ダイヤルアップの接続先を作成する

接続名を入力し
[完了]をクリックしてください。
新しく作成されたアイコンにマウスをあわせて
右クリックし[プロパティ]をクリックしてください。
[ネットワーク]をクリックしてください。
[ソフトウェア圧縮をする]のチェックをはずし
[TCP/IP]のみチェックし
[TCP/IP設定]をクリックしてください。
次項へ
新しい接続
新しいダイヤルアップ ネットワーク接続が次の名前で作成されました。
USBネットワーク
[完了] をクリックすると、接続が [ダイヤルアップ ネットワーク] フォルダに保存されます。
接続するには、作成されたアイコンをダブルクリックしてください。
後で接続の設定を変更するには、接続のアイコンをクリックしてから [ファイル] メニューの [プロパティ] をクリックしてください。
< 戻る(B)
完了
キャンセル
ダイヤルアップ ネットワーク
ファイル(F) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) 接続(C) ヘルプ(H)
アドレス(D) ダイヤルアップ ネットワーク
新しい接続
USBネットワーク
アイコンを選択すると、その説明が表示されます。
2 個のオブジェクト
USBネットワーク
全般 ネットワーク セキュリティ スクリプト処理 マルチリンク ダイヤル
電話番号 :
市外局番(R):
電話番号(P):
00
国番号(U):
日本 (81)
市外局番とダイヤルのプロパティを使う(S)
接続方法(N):
AtermIT SYNC115
設定(C)...
OK
キャンセル
USBネットワーク
全般 ネットワーク セキュリティ スクリプト処理 マルチリンク ダイヤル
ダイヤルアップ サーバーの種類(S):
PPP: インターネット、Windows 2000/NT、Windows Me
詳細オプション :
ソフトウェア圧縮をする(C)
この接続のログ ファイルを記録する(R)
使用できるネットワーク プロトコル :
NetBEUI(N)
IPX/SPX 互換(I)
TCP/IP(T)
TCP/IP 設定(P)...
OK
キャンセル

これでWindowsXPサーバの場合の
WindowsMe、Windows98、Windows98SEクライアントの設定を終了します。

2. WindowsXPのパソコンをクライアントとして使用する場合の設定

2.1 サーバの設定(Windows2000)

2.1.1 着信接続アイコンの作成

［着信接続に使うデバイス］を選択し
［次へ］をクリックしてください。
［仮想プライベート接続を許可しない］を選択し
［次へ］をクリックしてください。
［追加］をクリックしてください。
クライアントが接続するときに使用する
［ユーザー名］と［パスワード］を入力し
［OK］をクリックしてください。
次項へ
ネットワークの接続ウィザード
着信接続に使うデバイス
このコンピュータで着信接続を受け付けるのに使うデバイスを選択できます。
着信接続に使う各デバイスのとなりのチェック ボックスをオンにします。
接続デバイス(C):
AtermIT 128K Support Series for USB
赤外線ポート (IRDA6-0)
赤外線モデム ポート
直接パラレル (LPT1)
プロパティ(R)
< 戻る(B)
次へ(N) >
キャンセル
ネットワークの接続ウィザード
着信した仮想プライベート接続
インターネットまたはその他のパブリック ネットワークを通じて、別のコンピュータがこのコンピュータへの仮想プライベート接続を作成できます。
このコンピュータにインターネット上で認識される名前または IP アドレスがある場合のみ、インターネットを通じてこのコンピュータへ仮想プライベート接続を行うことができます。
仮想プライベート接続を許可するかどうかを選択してください:
仮想プライベート接続を許可する(A)
仮想プライベート接続を許可しない(D)
< 戻る(B)
次へ(N) >
キャンセル
ネットワークの接続ウィザード
許可されるユーザー
このコンピュータへ接続できるユーザーを指定することができます。
このコンピュータへの接続を許可する各ユーザーの名前のとなりのチェック ボックスをオンにしてください。注意: ユーザー アカウントが無効になっているなどのほかの要因によって、ユーザーが接続できなくなることがあります。
接続を許可するユーザー(E):
Administrator
Guest
追加(A)...
削除(D)
プロパティ(R)
< 戻る(B)
次へ(N) >
キャンセル
新しいユーザー
ユーザー名(U):
aterm
フル ネーム(F):
aterm
パスワード(P):
*****
パスワードの確認入力(C):
*****
OK
キャンセル

接続を許可するユーザーを選択し
[次へ]をクリックしてください。
[インターネットプロトコル(TCP/IP)]と
[Microsoftネットワーク用ファイルと
プリンタ共有]と[Microsoftネットワーク用
クライアント]にチェックし
[次へ]をクリックしてください。
[この接続に付ける名前]を入力し
[完了]をクリックしてください。
次項へ
ネットワークの接続ウィザード
許可されるユーザー
このコンピュータへ接続できるユーザーを指定することができます。
このコンピュータへの接続を許可する各ユーザーの名前のとなりのチェック ボックスをオンにしてください。注意: ユーザー アカウントが無効になっているなどのほかの要因によって、ユーザーが接続できなくなることがあります。
接続を許可するユーザー(E):
Administrator
aterm (aterm)
Guest
追加(A)...
削除(D)
プロパティ(R)
< 戻る(B)
次へ(N) >
キャンセル
ネットワークの接続ウィザード
ネットワーク コンポーネント
ネットワーク コンポーネントを使うと、ほかの種類のコンピュータがこのコンピュータに接続できるようになります。
着信接続に対して有効にする各ネットワーク コンポーネントのとなりのチェック ボックスをオンにします。
ネットワーク コンポーネント(C):
インターネット プロトコル (TCP/IP)
Microsoft ネットワーク用ファイルとプリンタ共有
Microsoft ネットワーク用クライアント
インストール(I)...
削除(U)
プロパティ(R)
説明:
伝送制御プロトコル/インターネット プロトコル。相互接続されたさまざまなネットワーク間の通信を提供する、既定のワイド エリア ネットワーク プロトコルです。
< 戻る(B)
次へ(N) >
キャンセル
ネットワークの接続ウィザード
ネットワークの接続ウィザードの完了
この接続に付ける名前(T):
着信接続
この接続を作成してネットワークとダイヤルアップ接続フォルダに保存するには、[完了] をクリックしてください。
この接続をネットワークとダイヤルアップ接続フォルダで編集するには、接続を選択し、[ファイル] メニューの [プロパティ] をクリックしてください。
< 戻る(B)
完了
キャンセル

作成された[着信接続]アイコンにマウスを
あわせて右クリックしプロパティをクリックしてください
着信を許可するデバイスを選択し
[プロパティ]をクリックしてください。
データプロトコルをAUTO(1Ch)に設定し
[OK]をクリックしてください。
128Kで接続する場合は
PPP(128K)に設定してください
これで着信接続アイコンの作成は終了です。
ネットワークとダイヤルアップ接続
ファイル(F) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) 詳細設定(N) ヘルプ(H)
戻る 検索 フォルダ 履歴
アドレス(D) ネットワークとダイヤルアップ接続
移動
ネットワークとダイヤルアップ接続
新しい接続の作成
着信接続
種類: 着信 接続
状態: 切断
1 個のオブジェクトを選択
着信接続のプロパティ
全般 ユーザー ネットワーク
着信接続
着信接続を許可するデバイス
デバイス(D):
AtermIT 128K Support Series for USB
赤外線ポート (IRDA6-0)
赤外線モデム ポート
直接パラレル (LPT1)
プロパティ(R)
仮想プライベート ネットワーク (VPN)
インターネットなどのネットワークをトンネリングして、ほかのコンピュータがこのコンピュータへプライベート接続を確立できるようにする(W)
接続時にタスク バーにアイコンを表示する(S)
OK
キャンセル
AtermIT 128K Support Series for USB 接続の設定
全般 詳細
呼び出しオプション
オペレータ経由 (手動) の呼び出し(O)
切断までの待ち時間(D)
分
ダイヤル時の接続タイムアウト(C)
60
秒
データ接続オプション
ポート速度(P):
115200
データ プロトコル(A):
AUTO (1 Ch.)
圧縮(R):
フロー制御(F):
ハードウェア
OK
キャンセル

2．1．2 ファイル共有の設定

これでWindowsXPクライアントの場合のWindows2000サーバーの設定を終了します。

2．2　サーバの設定(WindowsMe、Windows98、Windows98SE)

2．2．1　ダイヤルアップサーバのインストール

［スタート］－［設定］－［コントロールパネル］をクリックしてください。

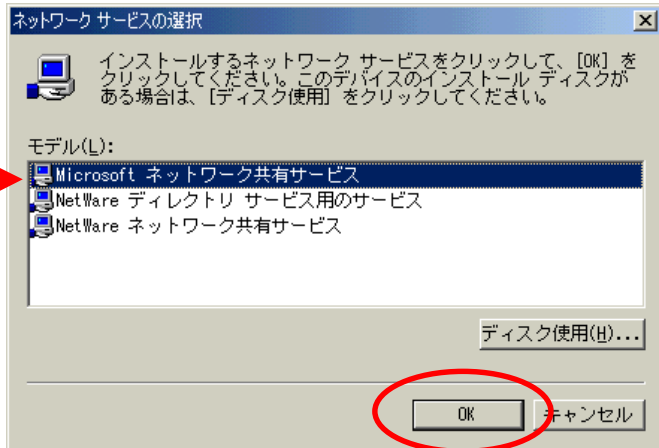
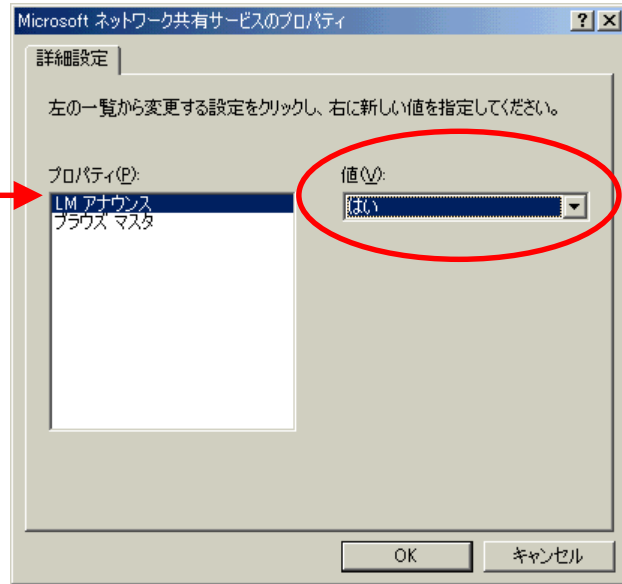
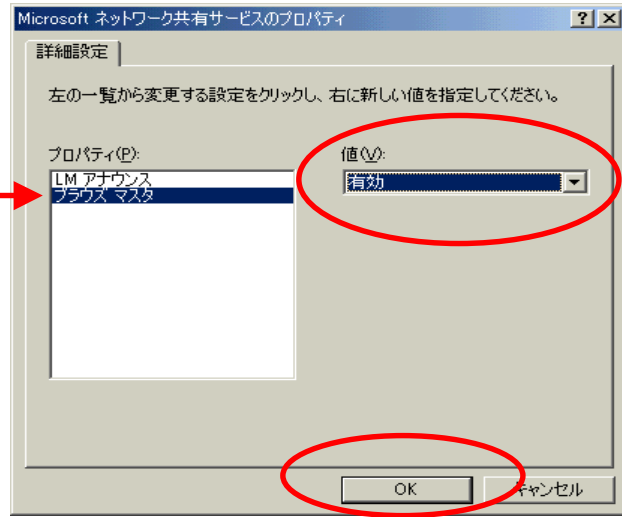
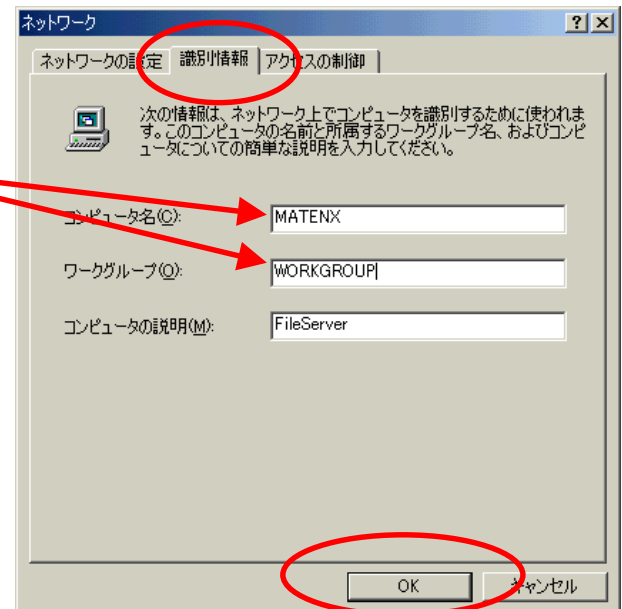
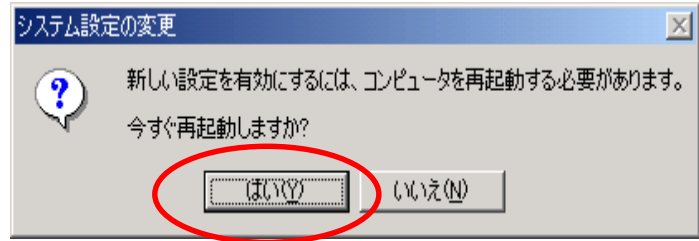
［アプリケーションの追加と削除］を
ダブルクリックしてください。

［Windowsファイル］をクリックしてください。

次項へ

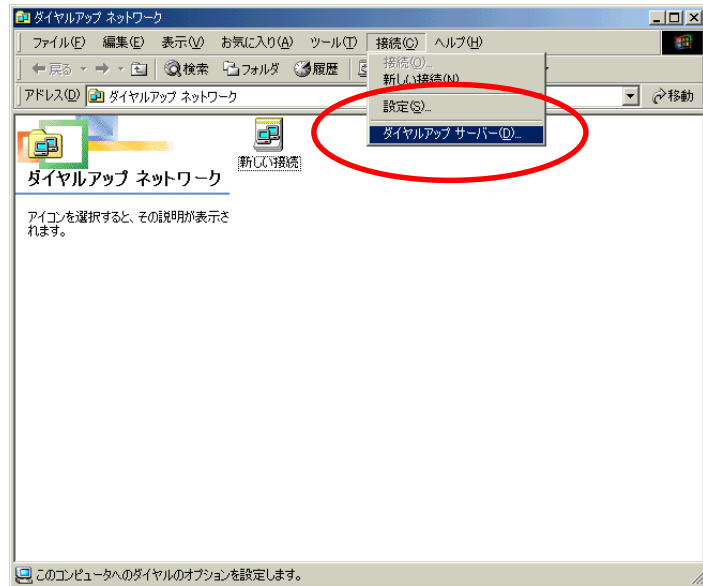
［通信］を選択し
［詳細］をクリックしてください。
アプリケーションの追加と削除のプロパティ
インストールと削除
Windows ファイル
起動ディスク
各チェック ボックスをクリックして、追加または削除するファイルを選択してください。影付きのチェック ボックスは、コンポーネントの一部だけがインストールされることを意味します。[詳細] をクリックすると、コンポーネントの内容が表示されます。
コンポーネントの種類(C):
マルチメディア 7.4 MB
ユーザー補助 4.7 MB
通信 6.1 MB
複数の言語サポート 0.0 MB
インストール済みコンポーネントのディスク領域： 44.0 MB
必要なディスク領域： 0.0 MB
空きディスク領域： 3066.7 MB
説明
ほかのコンピュータやオンライン サービスとの通信に使うアクセサリです。
選択数：6/10 個
詳細(D)...
ディスク使用(H)...
OK
キャンセル
適用(A)
［ダイヤルアップサーバー］を選択し
［OK］をクリックしてください。
通信
コンポーネントをインストールするには、コンポーネントのチェック ボックスをオンにしてください。インストールしないコンポーネントのチェック ボックスはオフにします。影付きのボックスは、コンポーネントの一部だけがインストールされることを意味します。コンポーネントの一覧を表示するには、[詳細] をクリックしてください。
コンポーネントの種類(C):
ケーブル接続 0.0 MB
ダイヤラ 0.2 MB
ダイヤルアップ サーバー 0.0 MB
ダイヤルアップ ネットワーク 0.0 MB
インストール済みコンポーネントのディスク領域： 44.0 MB
必要なディスク領域： 0.0 MB
空きディスク領域： 3066.2 MB
説明
モデムを使って、ほかのユーザーがコンピュータに接続します。
詳細(D)...
OK
キャンセル
［OK］をクリックしてください。
アプリケーションの追加と削除のプロパティ
インストールと削除
Windows ファイル
起動ディスク
各チェック ボックスをクリックして、追加または削除するファイルを選択してください。影付きのチェック ボックスは、コンポーネントの一部だけがインストールされることを意味します。[詳細] をクリックすると、コンポーネントの内容が表示されます。
コンポーネントの種類(C):
マルチメディア 7.4 MB
ユーザー補助 4.7 MB
通信 6.1 MB
複数の言語サポート 0.0 MB
インストール済みコンポーネントのディスク領域： 44.0 MB
必要なディスク領域： 0.0 MB
空きディスク領域： 3066.7 MB
説明
ほかのコンピュータやオンライン サービスとの通信に使うアクセサリです。
選択数：6/10 個
詳細(D)...
ディスク使用(H)...
OK
キャンセル
適用(A)
これでダイヤルアップサーバのインストールは終了です。

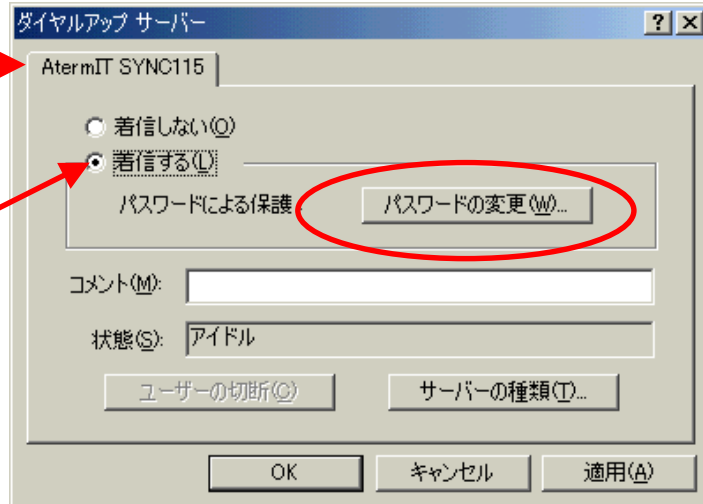
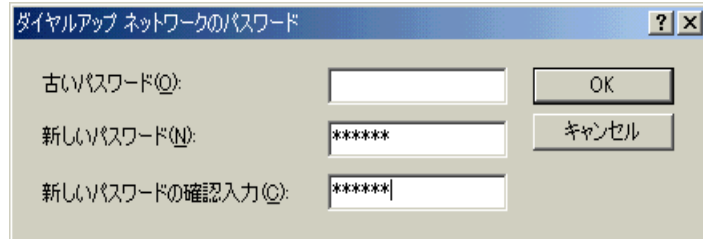
2．2．2　Microsoftネットワーク共有サービスのインストール

[Microsoftネットワーク共有サービス]を選択し[OK]をクリックしてください。
ネットワーク サービスの選択
インストールするネットワーク サービスをクリックして、[OK] をクリックしてください。このデバイスのインストール ディスクがある場合は、[ディスク使用] をクリックしてください。
モデル(L):
Microsoft ネットワーク共有サービス
NetWare ディレクトリ サービス用のサービス
NetWare ネットワーク共有サービス
ディスク使用(H)...
OK
キャンセル
[Microsoftネットワーク共有サービス]を選択し[プロパティ]をクリックしてください。
ネットワーク
ネットワークの設定
識別情報
アクセスの制御
現在のネットワーク コンポーネント(N):
NEC PK-UG-X006 or compatible Fast Ethernet Adapter
ダイヤルアップ アダプタ
TCP/IP -> NEC PK-UG-X006 or compatible Fast Ethernet Ada
TCP/IP -> ダイヤルアップ アダプタ
Microsoft ネットワーク共有サービス
追加(A)...
削除(E)
プロパティ(R)
優先的にログオンするネットワーク(L):
Microsoft ネットワーク クライアント
ファイルとプリンタの共有(F)...
説明
Microsoft ネットワークのファイルとプリンタの共有サービスによって、Windows NT や Windows for Workgroups を実行するコンピュータでファイルやプリンタを共有できます。
OK
キャンセル
次項へ

[LMアナウンス]を選択し
[はい]を選択してください。
Microsoft ネットワーク共有サービスのプロパティ
詳細設定
左の一覧から変更する設定をクリックし、右に新しい値を指定してください。
プロパティ(P):
LM アナウンス
ブラウズ マスタ
値(V):
はい
OK
キャンセル
[ブラウズマスタ]を選択し
[有効]を選択し[OK]をクリックてください。
有効
[識別情報]を選択し
[コンピュータ名]と[ワークグループ]を入力し
[OK]をクリックてください。
ネットワーク
ネットワークの設定
識別情報
アクセスの制御
次の情報は、ネットワーク上でコンピュータを識別するために使われます。このコンピュータの名前と所属するワークグループ名、およびコンピュータについての簡単な説明を入力してください。
コンピュータ名(C):
MATENX
ワークグループ(O):
WORKGROUP
コンピュータの説明(M):
FileServer
次項へ

これでMicrosoftネットワーク共有サービスのインストールは終了です。

２．２．３　ダイヤルアップサーバの設定

［スタート］－［設定］－［コントロールパネル］－［ダイヤルアップネットワーク］をクリックしてください。

［接続］をクリックし
［ダイヤルアップサーバー］をクリックしてください。

着信させたいモデムを選択してください。

［着信する］を選択し
［パスワードの変更］をクリックしてください。

クライアントが接続するときに使用する
パスワードを入力し［OK］をクリックしてください。

次項へ

[サーバーの種類]をクリックしてください。
[PPP:インターネット]を選択し
全て選択し[OK]をクリックしてください。
[適応]をクリックしてください。
次項へ
ダイヤルアップ サーバー
AtermIT SYNC115
着信しない(O)
着信する(L)
パスワードによる保護：
パスワードの変更(W)...
コメント(M):
状態(S):
アイドル
ユーザーの切断(C)
サーバーの種類(T)...
OK
キャンセル
適用(A)
サーバーの種類
ダイヤルアップ サーバーの種類(S):
PPP: インターネット、Windows 2000/NT、Windows Me
詳細オプション：
ソフトウェア圧縮をする(C)
暗号化パスワードを使う(E)
OK
キャンセル
ダイヤルアップ サーバー
AtermIT SYNC115
着信しない(O)
着信する(L)
パスワードによる保護：
パスワードの変更(W)...
コメント(M):
状態(S):
アイドル
ユーザーの切断(C)
サーバーの種類(T)...
OK
キャンセル
適用(A)

ダイヤルアップ サーバー

AtermIT SYNC115

着信しない(O)

着信する(L)

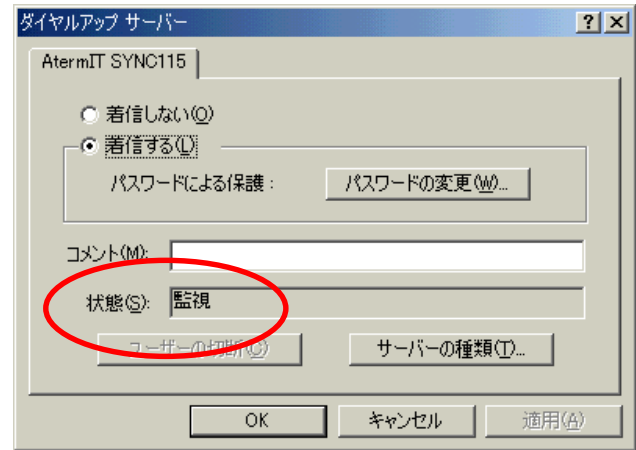
パスワードによる保護： パスワードの変更(W)...

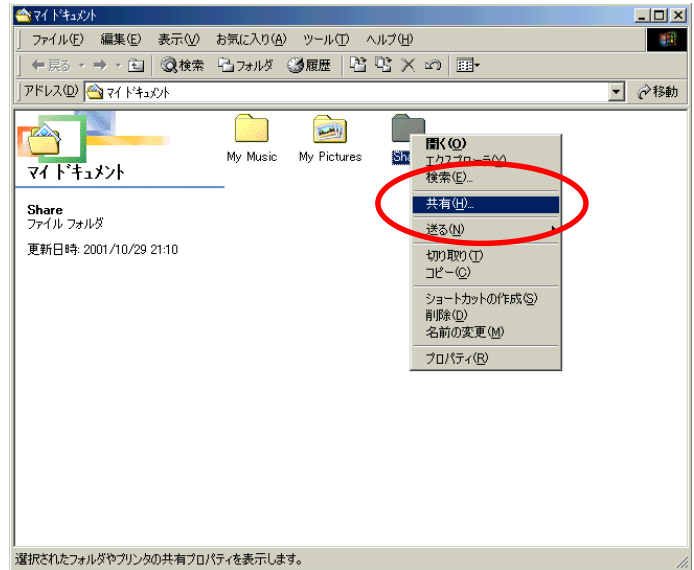
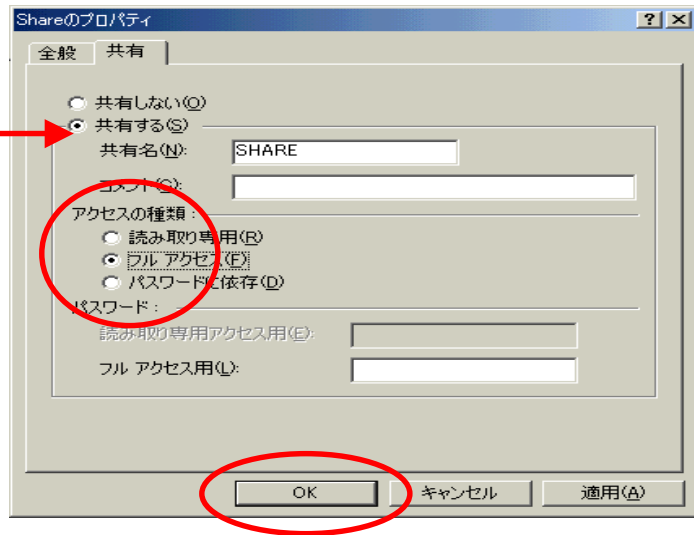
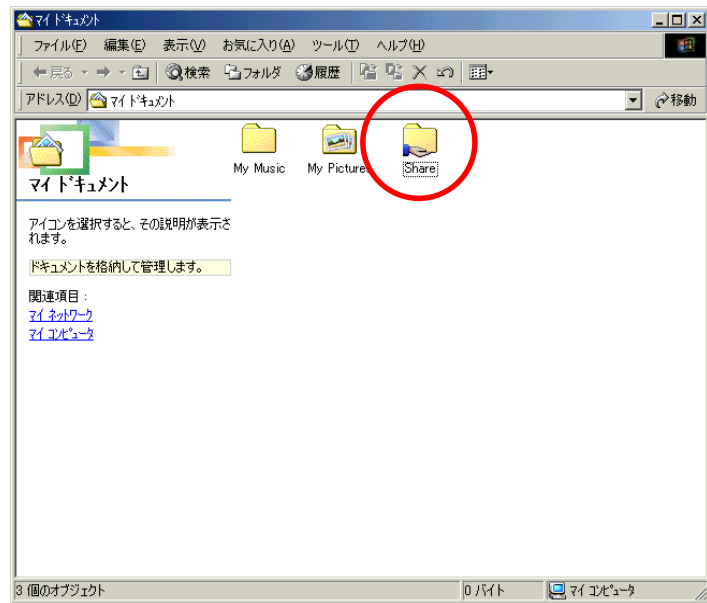
コメント(M):

状態(S): 監視

ユーザーの切断(D) サーバーの種類(T)...

OK キャンセル 適用(A)

[状態]が[監視]または[監視中]となることを確認してください。

これでダイヤルアップサーバーの設定は終了です。

2．2．4　共有の設定

共有したいフォルダにマウスをあわせて
右クリックをして[共有]をクリックしてください。
[共有]したいフォルダにマウスをあわせて
右クリックをして[共有]をクリックしてください。
[アクセスの種類]１つを選択し
[OK]をクリックしてください。
次項へ
マイドキュメント
ファイル(F)　編集(E)　表示(V)　お気に入り(A)　ツール(T)　ヘルプ(H)
戻る　検索　フォルダ　履歴
アドレス(D)　マイドキュメント　移動
My Music
My Pictures
Share
ファイル フォルダ
更新日時: 2001/10/29 21:10
開く(O)
検索(E)...
共有(H)...
送る(N)
切り取り(T)
コピー(C)
ショートカットの作成(S)
削除(D)
名前の変更(M)
プロパティ(R)
選択されたフォルダやプリンタの共有プロパティを表示します。
Shareのプロパティ
全般　共有
共有しない(O)
共有する(S)
共有名(N):　SHARE
コメント(C):
アクセスの種類：
読み取り専用(R)
フル アクセス(F)
パスワードに依存(D)
パスワード：
読み取り専用アクセス用(E):
フル アクセス用(L):
OK　キャンセル　適用(A)

これでWindowsXPクライアントの場合の
WindowsMe、Windows98、Windows98SEサーバーの設定を終了します。

２．３　WindowsXPクライアントの設定(サーバパソコンがWindows2000の場合)

１．　「WindowsXPのパソコンをサーバとして使用する場合の設定」の

１．２　「クライアントの設定(WindowsXP)」を参照してください。

２．４　WindowsXPクライアントの設定(サーバパソコンがWindowsMe、Windows98、Windows98SEの場合)

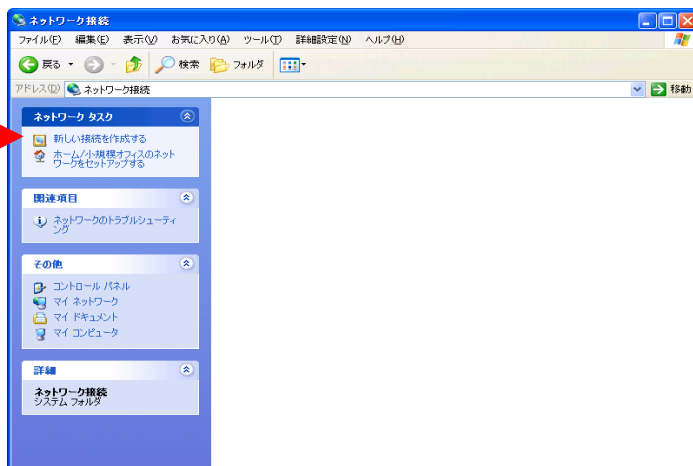
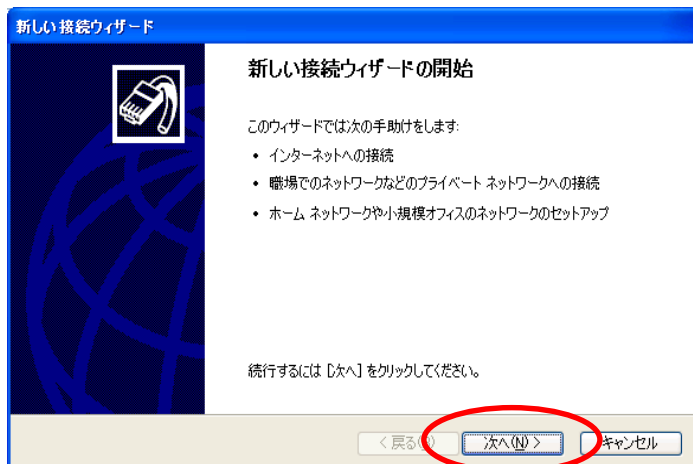
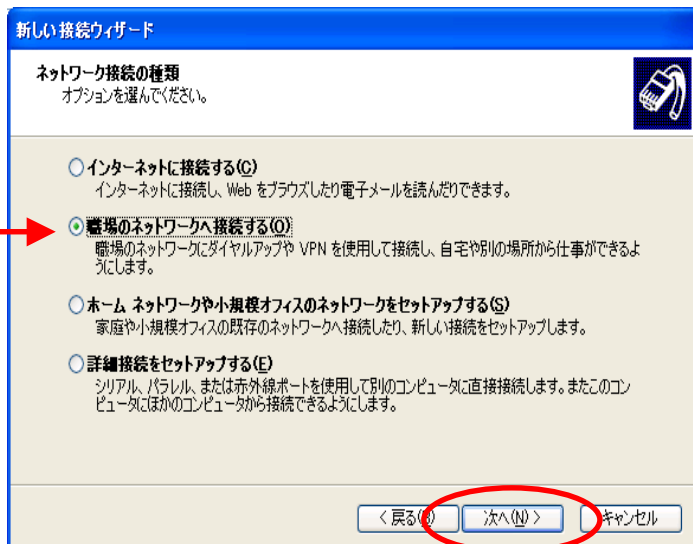
２．４．１　ワークグループ名の設定

１．　「WindowsXPのパソコンをサーバとして使用する場合の設定」の

１．２　「クライアントの設定(WindowsXP)」の

１．２．１　「ワークグループ名の設定」を参照してください。

2．4．2 ダイヤルアップの接続先を作成する

[ダイヤルアップ接続]を選択し
[次へ]をクリックしてください。
新しい接続ウィザード
ネットワーク接続
職場でネットワークにどう接続しますか?
次の接続を作成します:
ダイヤルアップ接続(D)
モデムや通常の電話線、または統合デジタル サービス通信網 (ISDN) 電話線を使用して接続します。
仮想プライベート ネットワーク接続(V)
インターネットをとおして仮想プライベート ネットワーク (VPN) 接続を使用してネットワークに接続します。
< 戻る(B)
次へ(N) >
キャンセル
接続に使用するデバイスを選択し
[次へ]をクリックしてください。
新しい接続ウィザード
デバイスの選択
接続に使うデバイスを選択します。
コンピュータ上に複数のダイヤルアップ デバイスがあります。
この接続に使用するデバイスの選択(S):
モデム - AtermIT 128K Support Series for USB (COM5)
モデム - NEC Fax Modem 56K Data+Fax(BUQD) (COM3)
< 戻る(B)
次へ(N) >
キャンセル
接続の名前の入力し
[次へ]をクリックしてください。
新しい接続ウィザード
接続名
職場への接続の名前を指定します。
次のボックスにこの接続の名前を入力してください。
会社名(A)
USBネットワーク
たとえば、職場の名前や接続するサーバーの名前を入力できます。
< 戻る(B)
次へ(N) >
キャンセル
次項へ

USBネットワークでご利用の場合、

サーバパソコンの電話番号は、以下の通りになります。

○AtermIT、ITXシリーズの場合

データ通信の内線番号

「00」 背面のUSBポート

「01」 前面のUSBポート

「02」 RS-232Cポート

「03」 Bluetoothポート

○AtermIW、IWXシリーズの場合

データ通信の内線番号(RC25/35/45からのダイヤルコマンドは/を*と読み代える)

「#/00」 制御ポート(無線ポートからのリモート接続)

「#/71」 USBポート

「#/81」 シリアルポート

「#/91」 無線Aポート

「#/92」 無線Bポート

「#/93」 無線Cポート

「#/94」 無線Dポート

「#/95」 無線Eポート

「#/96」 無線Fポート

と入力してください。

次項へ

[完了]をクリックしてください。
[プロパティ]をクリックしてください。
次項へ

新しい接続ウィザード
新しい接続ウィザードの完了
次の接続の作成に必要な手順は正常に完了しました。
USBネットワーク
• このコンピュータのすべてのユーザーと共有する
この接続は、[ネットワーク接続] フォルダに保存されます。
この接続へのショートカットをデスクトップに追加する(S)
接続を作成してウィザードを閉じるには、[完了] をクリックしてください。
完了
キャンセル
USBネットワーク へ接続
ユーザー名(U):
パスワード(P):
次のユーザーが接続するとき使用するために、このユーザー名とパスワードを保存する(S):
このユーザーのみ(N)
このコンピュータを使うすべてのユーザー(A)
ダイヤル(I):
00
ダイヤル(D)
キャンセル
プロパティ(O)
ヘルプ(H)

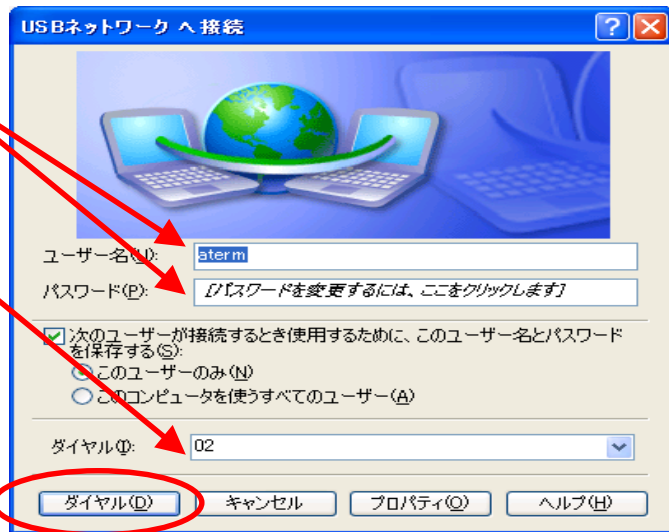
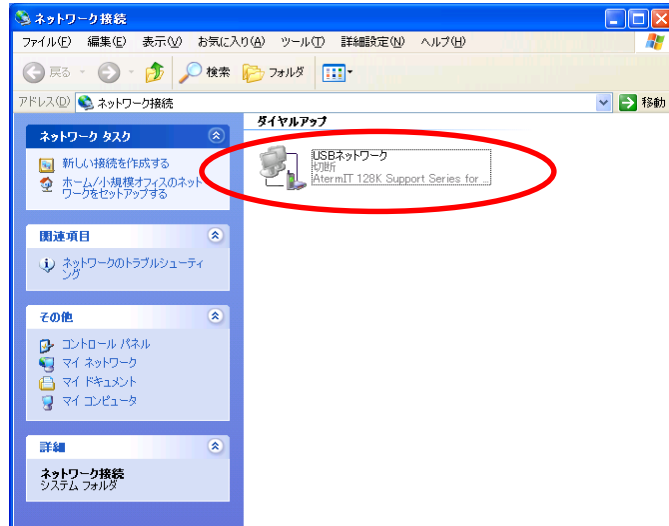
[ネットワーク]をクリックしてください。
[インターネットプロトコル(TCP/IP)]
[Microsoftネットワーク用クライアント]を
チェックして、[設定]クリックしてください。
全てのチェックをはずして
[OK]をクリックしてください。
次項へ
USBネットワーク プロパティ
全般
オプション
セキュリティ
ネットワーク
詳細設定
接続方法(T):
モデム － AtermIT 128K Support Series for USB (COM5)
モデム － NEC Fax Modem 56K Data+Fax(BUQD) (COM3)
すべてのデバイスで同じ番号を呼び出す(L)
構成(O)...
電話番号
市外局番(E):
電話番号(P):
00
その他(N)
国番号/地域番号(G):
ダイヤル情報を使う(S)
ダイヤル情報(R)
接続時に通知領域にアイコンを表示する(W)
OK
キャンセル
呼び出すダイヤルアップ サーバーの種類(E):
PPP: Windows 95/98/NT4/2000, Internet
設定(S)
この接続は次の項目を使用します(O):
インターネット プロトコル (TCP/IP)
Microsoft ネットワーク用ファイルとプリンタ共有
Microsoft ネットワーク用クライアント
インストール(N)...
アンインストール(U)
プロパティ(R)
説明
伝送制御プロトコル/インターネット プロトコル。相互接続されたさまざまなネットワーク間の通信を提供する、既定のワイド エリア ネットワーク プロトコルです。
PPP 設定
LCP 拡張を使う(E)
ソフトウェアによる圧縮を行う(N)
単一リンク接続に対してマルチリンクをネゴシエートする(M)

[インターネットプロトコル(TCP/IP)]を選択し
[プロパティ]をクリックしてください。
[詳細設定]をクリックしてください。
[IPヘッダー圧縮を使う]のチェックをはずし
[OK]をクリックしてください。
次項へ
USBネットワーク プロパティ
全般
オプション
セキュリティ
ネットワーク
詳細設定
呼び出すダイヤルアップ サーバーの種類(E):
PPP: Windows 95/98/NT4/2000, Internet
設定(S)
この接続は次の項目を使用します(O):
インターネット プロトコル (TCP/IP)
Microsoft ネットワーク用ファイルとプリンタ共有
Microsoft ネットワーク用クライアント
インストール(N)...
アンインストール(U)
プロパティ(R)
説明
伝送制御プロトコル/インターネット プロトコル。相互接続されたさまざまなネットワーク間の通信を提供する、既定のワイド エリア ネットワーク プロトコルです。
OK
キャンセル
インターネット プロトコル (TCP/IP)のプロパティ
全般
ネットワークでこの機能がサポートされている場合は、IP 設定を自動的に取得することができます。サポートされていない場合は、ネットワーク管理者に適切な IP 設定を問い合わせてください。
IP アドレスを自動的に取得する(O)
次の IP アドレスを使う(S):
IP アドレス(I):
DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する(B)
次の DNS サーバーのアドレスを使う(E):
優先 DNS サーバー(P):
代替 DNS サーバー(A):
詳細設定(V)...
OK
キャンセル
TCP/IP 詳細設定
全般
DNS
WINS
このチェック ボックスは、ローカル ネットワークとダイヤルアップ ネットワークに同時に接続しているときにのみ適用されます。オンになっている場合、ローカル ネットワークで送信できないデータはダイヤルアップ ネットワークに転送されます。
リモート ネットワークでデフォルト ゲートウェイを使う(U)
PPP リンク
IP ヘッダーの圧縮を使う(S)
OK
キャンセル

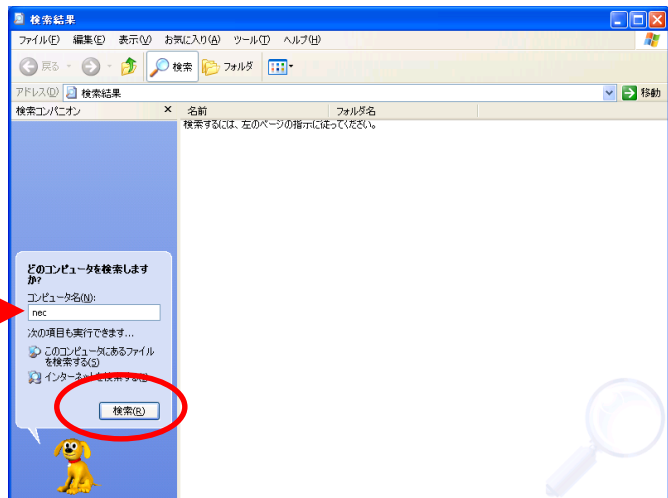
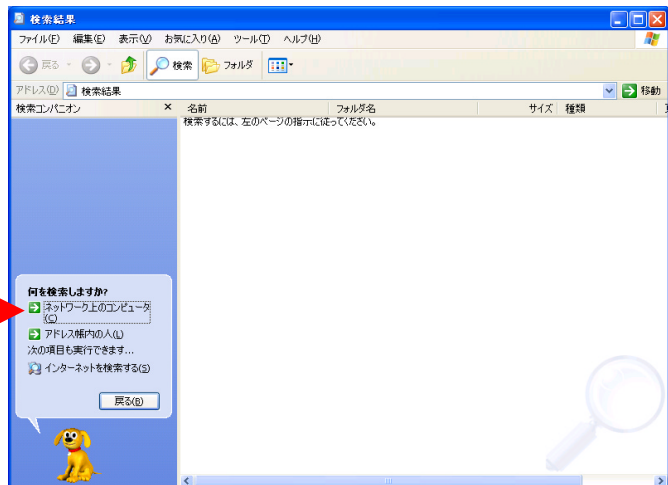
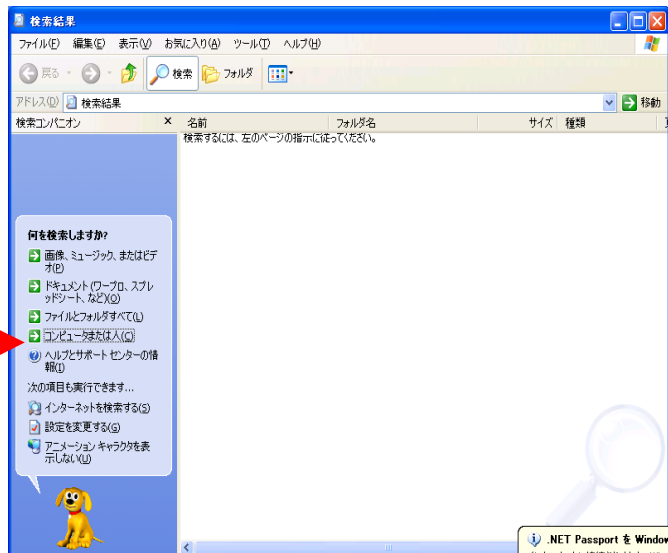
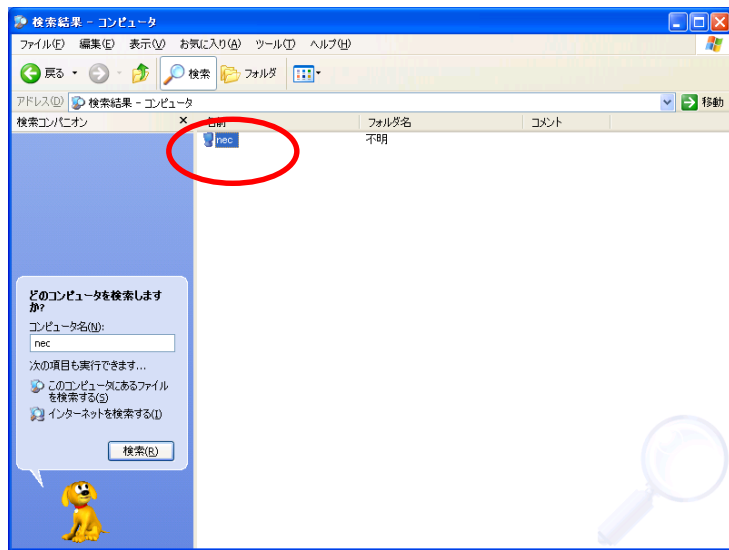
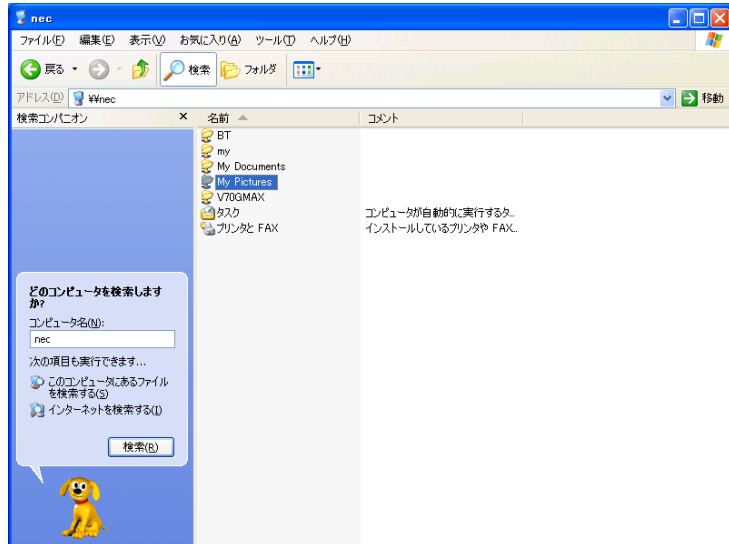
[OK]をクリックしてください。
[セキュリティ]をクリックしてください。
[詳細(カスタム設定)]を選択し
[設定]クリックしてください。
次項へ
インターネット プロトコル (TCP/IP)のプロパティ
全般
ネットワークでこの機能がサポートされている場合は、IP 設定を自動的に取得することができます。サポートされていない場合は、ネットワーク管理者に適切な IP 設定を問い合わせてください。
IP アドレスを自動的に取得する(O)
次の IP アドレスを使う(S):
IP アドレス(I):
DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する(B)
次の DNS サーバーのアドレスを使う(E):
優先 DNS サーバー(P):
代替 DNS サーバー(A):
詳細設定(V)...
OK
キャンセル
USBネットワークのプロパティ
全般
オプション
セキュリティ
ネットワーク
詳細設定
呼び出すダイヤルアップ サーバーの種類(E):
PPP: Windows 95/98/NT4/2000, Internet
設定(S)
この接続は次の項目を使用します(O):
インターネット プロトコル (TCP/IP)
Microsoft ネットワーク用ファイルとプリンタ共有
Microsoft ネットワーク用クライアント
インストール(N)...
アンインストール(U)
プロパティ(R)
説明
伝送制御プロトコル/インターネット プロトコル。相互接続されたさまざまなネットワーク間の通信を提供する、既定のワイド エリア ネットワーク プロトコルです。
OK
キャンセル
USBネットワークのプロパティ
全般
オプション
セキュリティ
ネットワーク
詳細設定
セキュリティ オプション
標準 (推奨設定)(T)
ID を確認する方法(V):
Windows のログオン名とパスワード (およびドメインがある場合はドメイン) を自動的に使う(U)
データの暗号化を必ず要求する (データが暗号化されていない場合は切断する)(D)
詳細 (カスタム設定)(D)
これらの設定を使用するには、セキュリティ プロトコルの知識が必要です。
設定(S)...
対話型ログオンおよびスクリプトの実行
ターミナル ウィンドウを表示する(H)
スクリプトを実行する(R):
編集(E)...
参照(B)...
OK
キャンセル

**これでWindowsMe、Windows98、Windows98SEサーバーの場合の
WindowsXPクライアントの設定を終了します。**

3. WindowsXPのパソコンをクライアントとして接続する方法

3. 1　接続方法

[ダイヤル]をクリックしてください。

これで接続方法を終了します。

３．２　サーバーのパソコンを検索する

これでサーバーのパソコンの検索を終了します。

ここまでくれば、あとは利用に応じて他のPCのディスク内部を見て、ファイルを編集したり
自分のPCへファイルコピーしたりと、いろいろなことができるようになります。